

平成 2 7 年度

草 加 の 教 育



市民体育祭夏休み
ちびっ子相撲



小学校枝豆収穫体験

草 加 市 教 育 委 員 会

草 加 市 民 憲 章

わたくしたち草加市民は、綾瀬の流れと松原をシンボルとして、おおきな夢をはぐくんできました。

人の心をたいせつにし、自然をいかした住みよいふるさとをめざして、ここに憲章をさだめます。

わたくしたちは

- 1 平和を愛し、文化的で、
ゆたかなまちをつくれます。
- 1 きまりを守り、安全で、
せいけつなまちをつくれます。
- 1 健康に努め、親切で、
さわやかなまちをつくれます。

(昭和63年11月1日制定)



市章 (昭和33年11月1日制定)

「笑顔かがやく草加の教育」をめざして

教育長 高 木 宏 幸

草加市教育委員会は、平成24年度から、草加市教育振興基本計画「笑顔かがやく草加教育プラン」を策定し、「生きる力を共に教え育てる草加の教育」を基本理念として、教育施策を推進しています。「生きる力」とは、一人ひとりがより良く生きていくために必要な力であり、確かな学力、豊かな心、健やかな体の知・徳・体のバランスの取れた力です。これを、学校教育・生涯学習・人権教育の全てを通じて育てることが大切です。

少子高齢化の進行のほか、地域社会の変容、グローバル化など、変化の激しいこれからの社会を生き抜くために、今、学校・家庭・地域が互いに信頼し、絆を深め、連携し、支え合いながら「生きる力」を共に教え育てる教育が求められています。

学校教育においては、教育力を充実させることに加え、学習環境の整備・充実、学校・家庭・地域の連携を推進し、その教育の実効性を上げることが重要です。

その方策として、学力の定着を目的とし、草加寺子屋（土曜学習）を開催しています。情報活用能力の向上のため、教育のICT化の推進に努めます。また、豊かな心をはぐくむために、インターネット上のトラブルなどにも対応したいじめ対策の推進や、学級支援員の配置による子どもたちの学校生活の安定を図ります。さらに国際理解教育の推進、グローバル人材の育成のため、外国語活動の充実に努めます。そして、子ども一人ひとりの教育的ニーズに対応するため、特別支援教育支援員を派遣し、各学校の特別支援教育の充実に努めます。さらには、放射線量の検査の実施などによって、安全でおいしい給食を提供し、健やかな体を育てていきます。

学習環境の整備では、小中学校の老朽化等への対策として、改修工事や、トイレ環境の改善を図ります。また、奥日光自然の家の改修・整備により、自然体験の充実に努めます。

学校・家庭・地域の連携推進では、目指す「草加っ子」（15歳の姿）の実現に向けた教育の実効性を高めるために、0歳から15歳までの子どもの育ちを共に支える、子ども教育の連携を推進しています。具体策として、子どもの健やかな育ちのために、小・中学校入学前後の子どもが学ぶ力を円滑に接続するよう、各園・各学校間の交流・連携の充実に取り組み、また、豊かな体験活動を支援するため、幼稚園・保育園・認定こども園の保育・教育活動が充実するよう支援します。さらに、家庭の教育力の向上のため、保護者を対象とした「親が親として育ち、力を付けるための学習」、中学生を対象とした「親になるための学習」の実施や子育て講演会を開催します。

生涯学習においては、「生涯学習情報提供サイト」の内容の充実及び活用の促進や、公民館等のサービス業務のネットワーク化の推進、また、郷土に対する愛着を培うことを目的とした文化遺産の発掘などの取組を行い、人と人、人と地域が学ぶことをとおして新たな絆を作り出していくことができるまち、学縁都市^{がくえん}そうかの推進を図ります。

人権教育においては、学校や社会における多様な機会をとおして人権を大切にしよう教育を推進し、一人ひとりの基本的人権を尊重する意識の高揚に努めます。

ここに、平成27年度「草加の教育」を刊行いたしました。皆様にご高覧いただき、幅広くご活用いただければ幸いに存じます。

目

次

草加市民憲章・市章

「笑顔かがやく草加の教育」をめざして

教育委員会教育長・教育長職務代理者・教育委員・
教育委員長

歴代教育委員会教育委員長・教育委員・教育長

教育行政・教育財政

平成27年度草加市教育委員会教育方針	7
平成27年度草加市教育行政重点施策	8
平成27年度一般会計予算(当初)	9
平成27年度教育費予算(当初)	9
教育委員会の組織	10
教育委員会の事務分掌	11

学校教育

「子ども教育」の連携を推進	17
入学準備金・奨学資金の貸付制度	18
外国人学校児童生徒保護者補助金制度	18
計画的な学校教育施設整備の推進	18
自然教室	19
教育施設の紹介	20
学校図書館教育	21
国際理解教育	21
情報教育	22
環境教育	23
教職員の研究・研修	24
生徒指導	25
教育相談	26
特別支援教育	28
学校給食	31
学校保健	32
市立小学校の紹介	34
市立中学校の紹介	40

生涯学習

地域に根ざした生涯学習活動の推進	45
文化遺産の保存と活用	46
生涯学習施設の紹介	47
草加市立中央図書館	49

人権教育

人権教育	53
------	----

資料編

草加の教育の沿革	57
草加市の指定文化財	62
教育委員会関係附属機関委員	66
学校教育関係等一覧	67
児童・生徒数等の推移	68
教職員の年齢構成・男女比	69
学校概要	70
小・中学校施設状況	71

教育委員会教育長・教育長職務代理者・教育委員・教育委員長

(平成27年4月1日現在)

氏 名	教 育 長	教育長職務代理者	教 育 委 員	教 育 委 員 長
	在任期間	在任期間	任 期	在任期間
たかぎ ひろゆき 高 木 宏 幸	H23.4.1～H27.3.31 H27.4.1～H30.3.31		H23.4.1～H27.3.31	
むらた よしかず 村 田 悦 一		H27.4.1～	H23.4.1～H24.9.30 H24.10.1～H28.9.30	H26.4.1～H27.3.31
いで けんじろう 井出 健治郎			H17.10.1～H18.12.31 H19.1.1～H22.12.31 H23.1.25～H27.1.24 H27.1.25～H31.1.24	H21.10.1～H22.9.30 H22.10.1～H22.12.31 H23.1.25～H24.1.24 H24.1.25～H25.1.24
おざわ なおひさ 小 澤 尚 久			H24.1.1～H27.12.31	
かとう ゆみ 加 藤 由 美			H24.10.1～H28.9.30	
うだがわ くみこ 宇田川 久美子			H26.4.1～H30.3.31	

歴代教育委員会教育委員長・教育委員・教育長

(地方教育行政の組織及び運営に関する法律施行後)

氏 名	教 育 委 員 長		教 育 委 員		教 育 長	
	就任年月日	退任年月日	就任年月日	退任年月日	就任年月日	退任年月日
藤 波 武 義	S32.1.9	S35.9.9	S31.10.1	S35.9.30		
岡野 仁右衛門			S31.10.1	S42.12.31		
浅 古 光 藏			S31.10.1	S43.9.30		
池 田 俊 三	S44.1.9	S45.1.8	S31.10.1	S48.9.30		
	S48.1.10	S48.9.30				
田 中 捷一郎			S31.10.1	S46.9.30	S31.10.1	S46.9.30
中 島 長太郎	S36.1.9	S43.12.19	S35.12.20	S43.12.9		
宮 本 忠 蔵	S45.1.9	S45.9.30	S43.4.1	S45.9.30	S47.1.14	S49.10.4
	S45.10.24	S46.1.11	S45.10.5	S49.10.4	S50.1.9	S53.12.31
			S50.1.1	S53.12.31		
上 山 良 一	S46.1.12	S47.1.7	S43.12.25	S47.12.24		
	S49.1.11	S52.1.10	S48.3.1	S52.2.28		
	S52.1.22	S52.2.28				
二階堂 重 信	S47.1.8	S47.12.24	S43.12.25	S47.12.24		
倉 林 誠一郎			S46.12.24	S50.12.23		
加 藤 正 一			S48.3.1	S49.12.31		
若 旅 吉一郎			S49.1.1	S52.12.31		
藤 盛 正 規	S52.4.23	S53.4.22	S51.1.1	S54.12.31		
佐々木 正 勇			S51.6.21	S55.6.20		
野 口 康 司	S53.4.23	S54.3.31	S53.1.1	S56.12.31	S54.4.1	S56.12.31
小 澤 博	S54.4.1	S56.12.31	S53.4.1	H5.6.30	S57.1.1	H5.6.30
藤 波 壽	S59.1.1	S61.12.31	S54.7.1	S62.6.30		
竹 澤 義 郎	S62.1.1	S62.12.31	S55.1.17	S63.1.16		
浅 古 正 三	S57.1.1	S58.12.31	S55.8.12	S63.8.11		
小 山 利 男	S63.1.1	H1.12.31	S57.4.1	H2.3.31		
渦 尾 延之助	H2.1.1	H2.12.31	S62.10.1	H3.9.30		
桂 保 平			S63.4.1	H4.3.31		
鈴 木 昭 平	H3.1.1	H4.9.30	S63.10.1	H4.9.30		
高 野 光 由	H4.10.1	H6.3.31	H2.4.1	H10.3.31		
	H8.1.10	H10.3.31				
藤 井 光 男	H6.4.1	H7.12.31	H4.1.1	H7.12.31		
神 白 高 子			H4.6.1	H12.5.31		
定 道 成 美			H4.10.1	H8.9.30		
常 田 種 雄			H5.10.15	H10.3.31	H5.10.15	H10.3.31
谷古宇 康 治	H10.4.1	H11.12.31	H8.1.1	H11.12.31		
倉 田 勝 美			H8.10.1	H15.3.31		
鳥谷部 志乃恵			H12.7.1	H16.6.30		
牛 山 信 康	H12.1.19	H14.1.18	H11.1.1	H17.4.22		
	H17.1.19	H17.4.22				
若 林 誠 満	H14.1.19	H17.1.18	H12.1.1	H19.12.31		
宮 嶋 昭 雄			H10.4.1	H22.3.31	H10.4.16	H22.3.31
國 澤 正 和	H19.5.24	H21.9.30	H16.10.1	H23.3.31	H22.4.1	H23.3.31
岩 永 嘉 仁			H20.1.1	H23.12.31		
浜 本 悦 子	H17.5.24	H19.5.23	H15.4.1	H24.9.30		
西 田 敏 子	H25.1.25	H26.3.31	H22.4.1	H26.3.31		

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、平成26年度をもって、教育委員長の職は廃止されました。

教育行政・教育財政

平成 27 年度草加市教育行政重点施策

草加市教育委員会では、第三次草加市総合振興計画後期基本計画及び草加市教育振興基本計画「笑顔かがやく草加教育プラン」の策定過程を踏まえ、『生きる力を共に教え育てる草加の教育』の実現を目指しており、本年度はその取り組みの最終年度として、その成果の更なる進展を図り、草加市教育行政重点施策を定めています。

○ 生きる力を育てる学校教育の推進

1 一人ひとりの良さや可能性が発揮される学校教育の推進

(1) 学ぶ力を伸ばす児童生徒の育成

草加っ子「生き生きプラン」推進事業
草加っ子「ステップアッププラン」推進事業
土曜学習推進事業
情報教育環境整備事業（小中学校）
英語教育・国際理解教育推進事業
教職員研修推進事業
学校教育補助員配置事業
教科書等整備事業
教材教具整備事業（小中学校）
学校図書充実事業（小中学校）

(2) 心豊かな児童生徒の育成

教育相談充実事業
生徒指導推進事業
いじめ撲滅推進事業
音楽教育推進事業
自然教室推進事業
豊かな心推進事業

(3) 健康でたくましい児童生徒の育成

学校体育推進事業
中学校部活動推進事業
就学時健康診断等事業
学校保健安全衛生・各種健康診断事業（小中学校）
学校医等の公務災害補償事務
放射線対策事業
学校給食推進事業（小中学校）
学校給食管理運営事業

(4) きめ細かな特別支援教育の充実

特別支援教育充実事業
特別支援教育就学奨励費補助事業（小中学校）

(5) 一人ひとりに応じた就学支援の充実

学校就学援助事業（小中学校）
入学準備金・奨学資金貸付事業
外国人学校児童生徒保護者補助事業

2 安全安心な教育環境整備の推進

(1) 計画的な学校教育施設整備の推進

校舎等増築事業（小中学校）
栄小学校校舎等改築事業
トイレ環境改善整備事業（小中学校）
学校施設維持管理事業（小中学校）
学校維持管理運営事業（小中学校）
学校管理備品整備事業（小中学校）
エアコン設置事業（小中学校）

(2) 魅力ある教育環境の推進

奥日光自然の家管理運営事業

3 学校・家庭・地域の連携の推進

(1) 家庭・地域の教育力の向上

学校応援団推進事業

(2) 組織力を生かした学校経営の推進

学校運営・就学事務適正化事業
学校管理運営事業（小中学校）
特色ある学校経営推進事業

(3) 子ども教育の連携の推進

子ども教育連携推進事業
「草加っ子」をはぐくむ小中連携講師配置事業

○ 生きる力をはぐくむ学^{がく}縁都市そうかの推進

4 地域に根ざした生涯学習活動の推進

(1) 生涯をとおした多様な学習機会の充実

生涯学習推進体制整備事業
そうか市民大学運営事業
平成塾設置・管理運営事業
大学公開講座等推進事業
新成人のつどい企画運営事業
子ども大学そうか事業

(2) 生涯学習施設の整備とネットワーク化の推進

公民館等事業
平成塾配置・管理運営事業
栄小学校施設一般開放事業
図書館情報サ・ビス・管理運営事業

(3) 文化遺産の発掘・保存等の計画的、継続的な取組の推進

文化遺産の発掘・保存・有効活用推進事業
国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」の保存・活用推進事業
歴史民俗資料館管理運営事業

○ 人権を尊重しあう教育の推進

5 人権教育の推進

(1) 学校人権教育の推進

学校人権教育推進事業

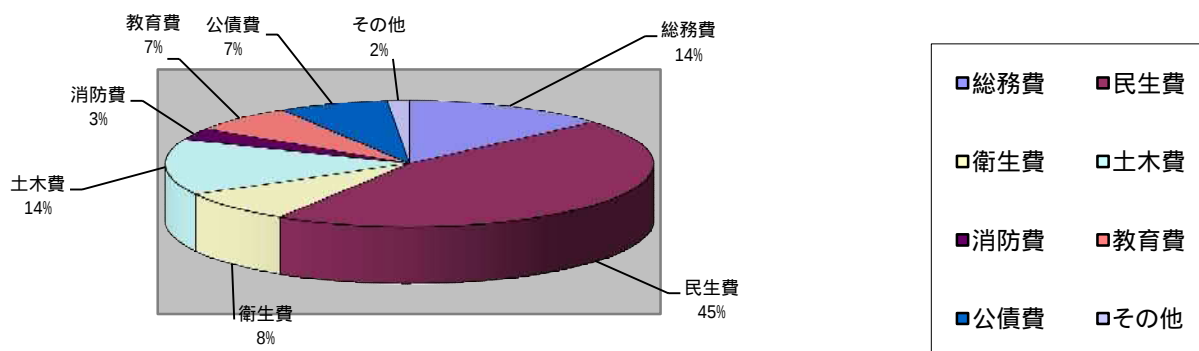
(2) 社会人権教育の推進

社会人権教育推進事業

平成 2 7 年度一般会計予算（当初）

（単位：千円）

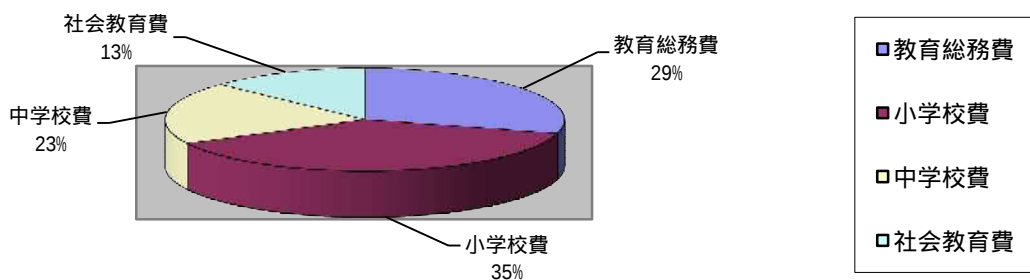
款	本年度予算額	前年度予算額	比較	増減率（％）
1 議会費	473,845	452,223	21,622	4.8
2 総務費	9,534,775	8,879,063	655,712	7.4
3 民生費	31,880,435	29,150,078	2,730,357	9.4
4 衛生費	5,656,041	5,482,513	173,528	3.2
5 労働費	65,719	82,425	16,706	20.3
6 農林水産費	79,324	74,936	4,388	5.9
7 商工費	308,781	296,835	11,946	4.0
8 土木費	10,060,642	9,996,762	63,880	0.6
9 消防費	2,155,028	3,196,096	1,041,068	32.6
10 教育費	4,858,958	4,312,266	546,692	12.7
11 災害復旧費	3	3	0	0.0
12 公債費	5,164,449	5,478,800	314,351	5.7
13 予備費	100,000	100,000	0	0.0
歳出合計	70,338,000	67,502,000	2,836,000	4.2



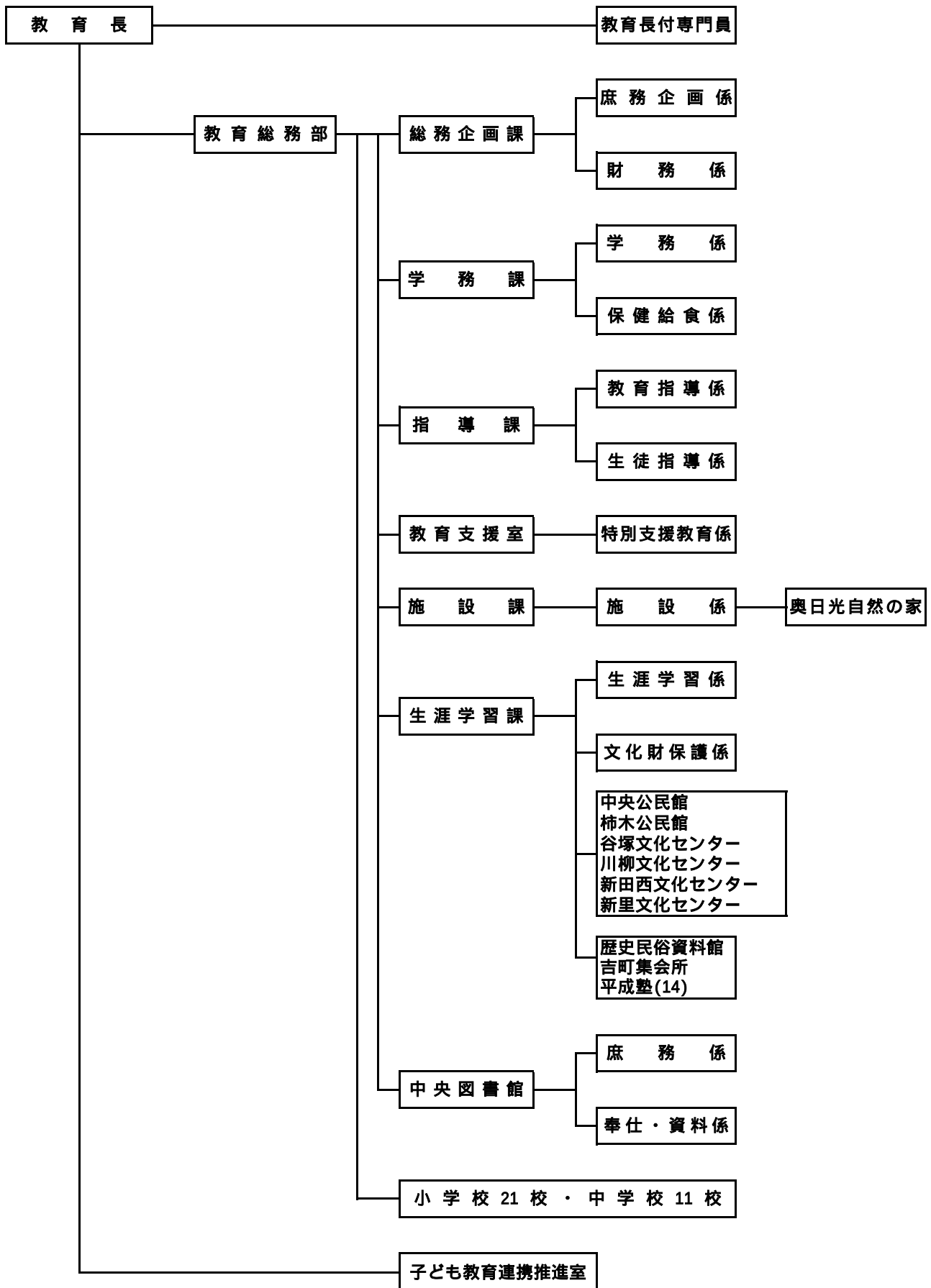
平成 2 7 年度教育費予算（当初）

（単位：千円）

項	本年度予算額	前年度予算額	比較	増減率（％）
1 教育総務費	1,412,362	1,263,487	148,875	11.8
2 小学校費	1,718,459	1,639,278	79,181	4.8
3 中学校費	1,104,397	851,431	252,966	29.7
4 社会教育費	623,740	558,070	65,670	11.8
合計	4,858,958	4,312,266	546,692	12.7



教育委員会の組織



平成27年度草加市教育委員会教育方針

教育は人格の完成を目指すとともに、心身共に健康な国民の育成を期して行うことを目的とし、あらゆる機会にあらゆる場所で実現することが求められています。

この目的を達成するため、「生きる力を共に教え育てる草加の教育」を基本理念とし、学校・家庭・地域が互いに信頼し、絆を深め、連携して支え合い、「笑顔かがやく草加の教育」を目指します。

次世代を担う子どもたちにとって必要な「生きる力」を支える確かな学力・豊かな心・健やかな体の調和を図るとともに、子どもたちの良さや可能性が発揮され、一人ひとりを大切にしたい信頼される学校教育を推進します。

「草加市学校におけるいじめ防止等のための基本的な方針」のもと、各校が策定した「いじめ防止基本方針」に基づき学校・家庭・地域が連携していじめ撲滅の取組を着実に進めます。

学力の向上を最重要課題ととらえ、子どもたちの学習状況の実態を細かに分析し、児童生徒の実態と課題を踏まえた各校の「学力向上プラン」に基づく教育実践を着実に積み上げることにより、児童生徒の学習意欲と学力の向上に努めます。また、児童生徒の主体的な学習を促す学習環境を整え、一人ひとりの確かな学力の着実な定着を目指します。

幼稚園、保育園、認定こども園、小学校、中学校が連携を十分に図り、生まれてから義務教育が修了する中学校卒業時までの草加市のすべての子どもたちの育ちを支えるため、「目指す『草加っ子』（草加市幼保小中教育指針）」、「草加市幼保小接続期プログラム」、小中学校乗り入れ授業を含む「草加市小中連携プログラム」を市内全域で実施し、子ども教育の連携を推進します。

さらに、家庭とも十分に連携を図り、理解や協力を求めながら、子どもたちの自ら学ぶ力、考える力などの「生きる力」を育成します。

障がいのある児童生徒一人ひとりの良さや可能性を最大限に発揮できるよう、教育支援の充実に努め、特別支援教育担当教員の育成及び指導力の向上に取り組みます。また、埼玉県立草加かがやき特別支援学校が担っているセンター的機能の活用をとおして、市内小中学校との連携を推進するなど、特別支援教育の更なる充実を目指します。

老朽化した小・中学校の校舎等について、学習環境の改善に向け、トイレの改修など各種整備を順次進めます。

学校予算のより効果的かつ効率的な執行を推進し、特色ある学校経営を支援します。

生涯学習を通じ「生きる力」をはぐくみ、人と人、人と地域が学ぶことをとおして新たな絆をつくりだしていくことができるまち、「学縁都市^{がくえん}そうか」の推進を図ります。

第二次草加市生涯学習基本構想・基本計画をもとに、市民との協働による多様な学習機会の創出、学習情報の提供を行うことによって生涯をとおした学習活動の推進体制を構築します。

国指定名勝である「おくのほそ道の風景地草加松原」をはじめとする文化財の適切な保存管理や今後の歴史民俗資料館のあり方等について計画策定に取り組み、文化的で魅力あるまちづくりに努めます。

一人ひとりの基本的人権が尊重され、平和で住み良い社会を実現するため、人権教育を推進します。

これからも教育の目的が十分達せられるよう、教育行政の課題をよりの確に把握し、子どもたち、学校、家庭、地域で市民一人ひとりが「笑顔かがやく草加の教育」を目指して、積極的に施策に取り組めます。

教育委員会の事務分掌

教育総務部

総務企画課

○庶務企画係

- ・ 教育行政の主要施策の企画、立案、総合調整及び推進に関する事。
- ・ 教育委員会の会議に関する事。
- ・ 教育委員会の秘書事務に関する事。
- ・ 学校の設置及び廃止に関する事。
- ・ 教育委員会規則等の制定及び廃止に関する事。
- ・ 職員（県費負担教職員を除く。）の人事、給与及び服務に関する事。
- ・ 職員（県費負担教職員を除く。）の福利厚生及び研修に関する事。
- ・ 儀式及び表彰に関する事。
- ・ 文書等の配布及び発送に関する事。
- ・ 文書事務の指導に関する事。
- ・ 公印の管理に関する事。
- ・ 教育委員会事務局内及び部内の調整に関する事。
- ・ 他の課に属さない事務に関する事。
- ・ その他課の庶務に関する事。

○財務係

- ・ 予算の作成及び調整に関する事。
- ・ 学校予算の配当に関する事。
- ・ 物品の購入、委託その他の契約に関する事。
- ・ 教育財産の統括に関する事。
- ・ 「草加の教育」及び「そうか教育だより」の発行に関する事。
- ・ 教育の調査統計及びその分析に関する事。
- ・ 入学準備金及び奨学資金の貸付けに関する事。
- ・ その他財務に関する事。

学務課

○学務係

- ・ 県費負担教職員の服務及び人事に関する事。
- ・ 学級編成及び児童生徒数の管理に関する事。
- ・ 学齢児童生徒の就学、入学、転学及び退学に関する事。
- ・ 学齢簿の編製及び保管に関する事。

- ・ 要保護・準要保護児童生徒の援助費に関すること。
- ・ 通学区域の設定及び改廃に関すること。
- ・ 学校の運営の基本的事項に関すること。
- ・ 学校基本調査に関すること。
- ・ その他課の庶務に関すること。

○保健給食係

- ・ 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師に関すること。
- ・ 独立行政法人日本スポーツ振興センターに関すること。
- ・ 児童生徒及び教職員の保健安全に関すること。
- ・ 学校保健衛生の計画及び推進に関すること。
- ・ 児童等災害対策基金に関すること。
- ・ 学校給食の計画及び推進に関すること。
- ・ 学校給食用備品の維持管理に関すること。

指導課

○教育指導係

- ・ 教職員研修及び各種教育研究会に関すること。
- ・ 教科等の指導に関すること。
- ・ 教育課程の編成及び管理に関すること。
- ・ 教育研究奨励に関すること。
- ・ 学校教育調査に関すること。
- ・ 安全教育等に関すること。
- ・ 国際理解教育の推進に関すること。
- ・ 情報教育の推進に関すること。
- ・ 環境教育の推進に関すること。
- ・ 進路指導に関すること。
- ・ 教科用図書の採択に関すること。
- ・ 教科用図書無償給与事務に関すること。
- ・ 校外行事等に関すること。
- ・ 学校における人権教育に関すること。
- ・ 学校評価に関すること。
- ・ 児童生徒の事故に関すること。
- ・ その他課の庶務に関すること。

○生徒指導係

- ・ 生徒指導に関すること。

教育支援室

○特別支援教育係

- ・ 特別支援教育に関すること。
- ・ 教育相談に関すること。
- ・ その他室の庶務に関すること。

施設課

○施設係

- ・ 学校施設の維持管理並びに維持管理に係る小規模工事及び修繕に関すること。
- ・ 学校施設の設備の保全及び委託に関すること。
- ・ 奥日光自然の家に関すること。
- ・ 学校施設の整備計画に関すること。
- ・ 学校施設の建設及び大規模改修等に関すること。
- ・ 学校施設の安全に関すること。
- ・ その他学校施設に関すること。
- ・ その他課の庶務に関すること。

生涯学習課

○生涯学習係

- ・ 生涯学習の企画及び推進に関すること。
- ・ 生涯学習に係る情報の収集及び提供並びに調査研究に関すること。
- ・ 社会教育施設に関すること。
- ・ 社会教育機関の相互調整に関すること。
- ・ 生涯学習における人権教育に関すること。
- ・ 新成人のつどいに関すること。
- ・ 栄小学校施設の一般使用に関すること。
- ・ その他課の庶務に関すること。

○文化財保護係

- ・ 市史の刊行に関すること。
- ・ 歴史資料として重要な公文書等の調査、収集及び保存に関すること。
- ・ 公文書館の整備推進に関すること。
- ・ 文化財の保護に関すること。

中央図書館

○庶務係

- ・ 図書館運営に関すること。
- ・ 施設管理に関すること。
- ・ 多目的ホールの一般使用に関すること。
- ・ その他図書館の庶務に関すること。

○奉仕・資料係

- ・ 図書館資料の選定、整理及び保存に関すること。
- ・ 郷土資料、寄贈等の資料の受入保管に関すること。
- ・ その他図書館資料に関すること。
- ・ 図書館資料の利用に関すること。
- ・ レファレンス・サービスに関すること。
- ・ 文化事業の企画及び運営に関すること。
- ・ その他図書館の奉仕に関すること。

子ども教育連携推進室

子ども教育連携推進室

- ・ 幼稚園・保育園・認定こども園・小学校・中学校の連携の推進に関すること。
- ・ 幼児教育に関すること。
- ・ 家庭教育への支援に関すること。

学 校 教 育

「子ども教育」の連携を推進

生まれてから中学校卒業までを、子どもたち一人ひとりに「生きる力」をはぐくむ大切な教育期間ととらえ、幼稚園・保育園・認定こども園・小学校・中学校及び家庭の連携を図る「子ども教育」の連携を推進しています。

1 3つのプログラムを実施しています。

目指す「草加っ子」(幼保小中教育指針)

0歳から15歳まで、「自ら学び、心豊かに、たくましく生きる」草加っ子をはぐくむため、発達段階ごとに、「生活」「人との関わり」「自ら学ぶ」の各領域について、「具体的な取組事項」を定める教育の指針です。

園や学校という違いがあっても、子どもに関わる教職員が一体となって、中学卒業時の子どもの姿である「草加っ子」をはぐくむための指針です。

幼保小接続期プログラム

幼稚園・保育園の教育課程の「遊び(生活)」を小学校の各教科等の「学び」につなげるためのプログラムです。

小中連携プログラム

小中学校9年間を見通した教育により、基本的な生活習慣・学習習慣の定着や、学力の向上、問題行動の予防を目指すプログラムです。

2 2つのモデルプランを試行実施しています。

平成27年度は、この2つのモデルプランを市内61団体の幼稚園・保育園・認定こども園・小学校・中学校でモデル的に実施し、検証を行います。

乳幼児期 保育・教育課程モデルプラン(草加っ子 にこにこ わくわくプラン)

小学校入学までに身に付けたい力をはぐくむために、乳幼児期において「生活」「人との関わり」「自ら学ぶ」の各領域で経験させたい内容を、発達の時期ごとに示した、教員・保育士向けの指導資料です。

小中学校 教育課程指導資料(算数・数学)モデルプラン

児童生徒の学力や意欲を伸ばし、思考力の育成や知識・技能の定着を図るために、小中学校9年間を見通した算数・数学の指導を支援する、小中学校教員向けの指導資料です。

3 家庭教育への支援

小中学校入学前などの節目における新1年生の保護者を対象にした「親の学習」講座の開催、乳幼児期・小学校入学準備期から児童期・思春期それぞれの時期をテーマにした子育て講演会の開催や保護者向けの子育てリーフレットシリーズ(「笑顔で子育て」「もうすぐ1年生」「エンジョイ!中学校生活」)の作成・配布を行います。

入学準備金・奨学資金の貸付制度

高等学校等に入学を希望する方の保護者で入学準備金の調達が困難な方に対し、入学準備金を貸し付けることにより市民に等しく教育を受ける機会を与えるとともに、経済的な理由から修学が困難な方に対し、奨学資金を貸し付けることにより有能な人材の育成を図ります。

区	分	入学準備金貸付限度額	奨学資金貸付金額（月額）
高 等 学 校	国立・公立	100,000円	10,000円
高 等 専 門 学 校	私 立	300,000円	20,000円
専 修 学 校			
短 期 大 学	国立・公立	200,000円	15,000円
大 学	私 立	500,000円	30,000円

外国人学校児童生徒保護者補助金制度

外国人学校（学校教育法に定める義務教育相当年齢の児童生徒を教育する学校）に通学する児童生徒の保護者で、住民基本台帳に記載されている方を対象に、通学に要する経費の補助を実施しています。

対 象 者	補 助 金 額
学齢児童の保護者（1人につき）	30,000円以内
学齢生徒の保護者（1人につき）	50,000円以内

計画的な学校教育施設整備の推進

平成27年度は、トイレ環境の改善に向けて、小学校3校3箇所のトイレ改修工事を実施するとともに、小中学校のその他必要な修繕及び工事を実施し、安全で快適な学習環境を維持します。

自 然 教 室

1 趣旨と目標

自然教室は、自然に恵まれた「奥日光自然の家」を利用して、児童生徒一人ひとりが自然の恵みや美しさなどに触れるとともに、人間的な触れ合いの中で、より良い人間関係を深めることにより、豊かな心を育成することを目標とした取組です。豊かな心の育成が大きな教育課題の一つになっている今、ますます自然教室での自然との触れ合いや仲間との交流活動などの学習が大切になっています。

平成26年度から、試行として草加市と姉妹都市である福島県大沼郡昭和村でも自然教室を実施しています。

2 実施計画の概要

- 小学校5年生全児童、中学校2年生全生徒対象

【奥日光】

- ・ 小学校18校 各校3泊4日 7月21日(火)～8月11日(火)
8月18日(火)～8月24日(月)
- ・ 中学校11校 各校3泊4日 6月3日(水)～6月12日(金)
6月28日(日)～7月10日(金)
9月3日(木)～9月15日(火)

【昭和村】

- ・ 小学校3校 各校2泊3日 7月22日(水)～7月24日(金)
7月29日(水)～7月31日(金)
8月5日(水)～8月7日(金)

3 自然教室の経緯

- 昭和60年 蓼科林間学校が廃止される。
- 昭和61年 奥日光自然の家を日光中禅寺湖畔に開設する。
(小学校3泊4日、中学校4泊5日)
(4大学が利用していた施設を市が譲り受ける。)
- 平成7年 小学校・中学校とも3泊4日とする。
- 平成17年 自然教室開設20周年記念式典を行う。
- 平成26年 昭和村での2泊3日の自然教室を小学校2校で試行する。
- 平成27年 昭和村での2泊3日の自然教室を小学校3校で試行する。

教 育 施 設 の 紹 介

○ 奥日光自然の家

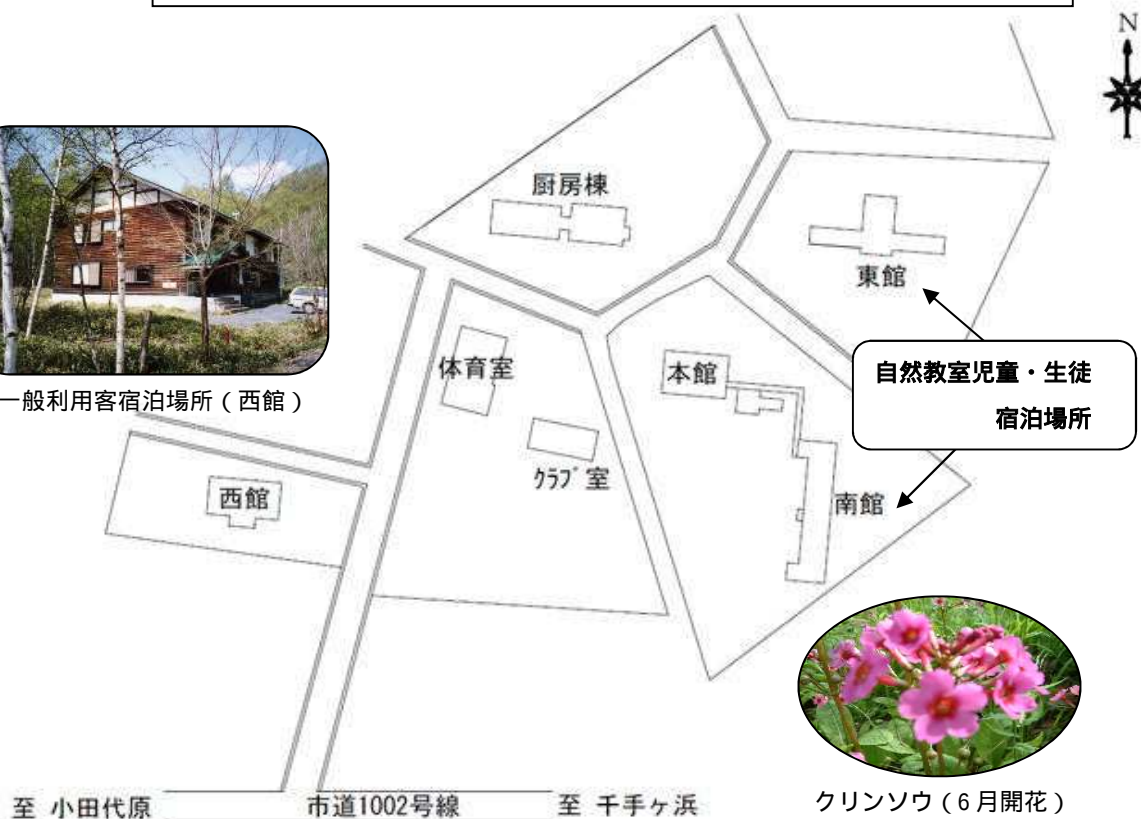
中禅寺湖畔千手ヶ浜にほど近い国有林にある草加市立奥日光自然の家は、周辺に野鳥や鹿などの野生動物が生息する自然の宝庫です。この豊かな自然環境の中で、児童生徒の心身共に調和のとれた健全な育成を図るとともに、市民の健康増進を目的として同施設は昭和61年に開設されました。

毎年、5月から11月初旬まで一般の方に施設を利用していただいております。また、6月から9月にかけて、市内の小学5年生・中学2年生を対象に、3泊4日で自然教室を開催しております。

- ・ 所在地：栃木県日光市中宮祠官有無番地
- ・ 施設概要：宿泊棟4棟(本館、南館、東館、西館)、厨房棟、体育室、クラブ室
西館 和室(定員4名)5部屋 洋室(定員6名)5部屋
- ・ 宿泊料金(市内料金)：大人1人1泊1,540円 4歳~中学生770円
食事料金別途



一般利用客宿泊場所（西館）



草加市立奥日光自然の家配置図

学 校 図 書 館 教 育

1 学校図書館の機能

学校図書館には、児童生徒が自ら学ぶ学習情報センターとしての機能、豊かな感性や情操をはぐくむ読書センター機能が求められています。

- (1) 司書教諭を中心に、全教職員の共通理解に基づく協力体制を確立し、計画的な学校図書館の利用や読書活動の推進を図っています。また、公立図書館との連携も行っています。
- (2) 学習情報センター及び読書センターとしての機能が発揮できるよう、図書や視聴覚資料等の整備・充実に努め、データベース化も行っています。
- (3) 市教育委員会では、学校司書を採用して、小中学校に派遣し、学校図書館教育への支援を行っています。

2 読書活動

読書は、児童生徒の人間形成に欠かせない活動であり、生涯にわたる自己啓発の基盤となるものです。また、小中学校では、学校図書館を活用して計画的な読書活動を推進し、発達段階に応じながら朝の一斉読書や読み聞かせ活動等により、児童生徒が読書に親しむ態度の育成を図っています。

3 成果

取組により、学校図書館の利用者数が増加し、読書活動の充実が図られています。

国 際 理 解 教 育

1 国際理解教育の目標

国際理解教育は国際化の進展に対応し、国際社会の中で日本人としての自覚と、主体性をもって生きていくための資質や能力の基礎を培うことを目標に行っています。

本市では、外国語活動及び英語教育の充実に向け、国際交流員（C I R）1人を含む語学指導助手（A L T）13人を配置しています。英語教育や国際理解教育だけでなく、特別活動等でも児童生徒との交流活動を実施しています。

2 中学校における英語教育

英語の授業では、日本人英語教師とA L Tとのチームティーチング等をとおり、生徒が英語を使ってコミュニケーション活動などを行い、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養っています。

3 小学校における外国語活動

小学校では、5・6年生で外国語活動が行われています。担任教師が中心となり、文部科学省作成の『Hi,friends!』等を活用し、A L Tとのチームティーチングを行うなど、児童が外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむことをとおして、国際理解を深めることができるよう、外国語活動を実施しています。

4 その他の取組

日本語指導が必要な児童生徒の在籍校に国際理解教育補助員（8人）を配置し、該当児童生徒の実態に応じた日本語支援等を行っています。

5 成果

取組により、外国語をとおして外国の言語や文化を身近に感じ、興味・関心が高まっています。また、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育っています。

情 報 教 育

1 情報教育の目標

情報教育の目標は、児童生徒が情報を主体的に収集・選択・活用する情報活用能力及びI C T機器等の情報手段を活用できる能力の育成を図ることです。

小中学校では、各教科や領域においてI C Tを積極的に活用し、学習活動における情報教育の充実を図ります。

2 主な取組

(1) I C T環境の整備

- ・全校にコンピュータ各42台を整備
- ・全校に特別教室用コンピュータ、電子黒板、実物投影器等を整備
- ・全校の学校図書館にコンピュータ各2台を整備
- ・全校にインターネット高速通信回線接続
- ・小中学校県費負担教職員に教育用兼校務用コンピュータを整備

(2) 情報教育研修会

情報教育に関する教員の資質向上のために、教育用兼校務用コンピュータを活用した研修会、I C T機器活用研修会などを実施します。また、各学校では情報教育の推進教員による校内研修などに取り組みます。

(3) 情報教育推進委員会

学校における情報教育の推進を図るため、情報教育機器の活用、I C T機器を活用した学習活動の在り方、教材の開発等の調査・研究を行っています。また、情報社会に

おけるモラルやマナーの育成や、教育用兼校務用コンピュータの活用による教員事務の効率化に向けた取組を行っています。

(4) 授業でのＩＣＴ活用

中学校に、各教科でデジタル教科書を整備し、授業で活用しています。また、平成２７年度より、各小学校が希望する教科でデジタル教科書を整備し、授業で活用しています。

３ 成果

取組により、各校でのコンピュータやインターネットを活用した教育活動の充実が図られています。授業でのＩＣＴ活用、情報教育機器等の整備をとおして、児童生徒の学習意欲や情報活用能力の向上が図られています。

環 境 教 育

近年、社会環境の著しい変化とともに「環境教育」の重要性・実践性が強く求められています。

本市では、平成４年度から学校教育の場において市環境課と連携し、市内小中学校で給食の牛乳パックのリサイクルを開始しました。また、平成６年度からは「子ども環境サミット」を開催し、平成２７年度で２０回目を迎えます。

平成７・８年度には埼玉県環境教育モデルゾーンの指定を受け、新栄中学校を中心とする地域で研究推進に取り組みました。これらにより、学校における環境教育の意識が一層高まってきました。

また、平成１０年度から市環境課と協力し、「学校ビオトープ」の整備・充実を図るとともに、「草加市環境教育指導資料」の冊子や「広げよう、地球にやさしい暮らし」のパンフレットなどを作成し、意識の高揚を図りました。

平成１６年度からは、市環境課・廃棄物資源課と連携して、市内の小中学校でアルミ缶の回収活動を開始し、学校教育への還元化を目指した進取的な取組を行っています。

１ 具体的な取組内容

- (1) 環境教育の全体計画と年間指導計画づくりの推進
- (2) 総合的な学習の時間等での積極的な取組(出前講座の講師派遣・環境教育への支援)
- (3) 子ども環境サミットの開催(児童生徒による環境保全活動の発表・意見交換等)
- (4) 学校ビオトープ設計相談と維持管理等への助言
- (5) 牛乳パックやアルミ缶のリサイクルへの取組
- (6) エコライフDAY(県)の積極的な実施
- (7) 小学校５年生・中学校２年生全員参加による自然教室をとおして行う環境教育の推進

2 今後の方向性

- (1) 「持続可能な循環型社会づくり」を目指して、市内の小中学校で環境教育の一層の推進を図っていきます。
- (2) 関係機関との連携を深め、地域ぐるみの活動として定着を図っていきます。

教 職 員 の 研 究 ・ 研 修

生きる力を共に教え育てることを目指し、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力を育成するため、教育研究への支援や教職員の資質の向上を図る研修会を実施しています。また、平成17年度から取り組んできた「草加っ子の基礎・基本」を平成24年度に改訂し、更なる充実を目指して、「基礎学力」「規律ある生活」「健康・体力」の3つの達成目標に関し、保護者の方々と連携して、小中学校で取組を行っています。

1 学校訪問

- (1) 要請訪問：学校や教職員によって運営される市教育研究会の要請に応じ、指導主事が学校等を訪問し、指導助言を行っています。
- (2) 指導訪問：市教育委員会の計画に基づき、埼玉県南部教育事務所等の協力を得て、毎年度1回市内小中学校32校を訪問し、指導助言を行っています。

2 教職員研修

- (1) 県教育委員会主催：初任者研修、ステップ・アップ研修、5年経験者研修、10年経験者研修、20年経験者研修、特定研修等を実施しています。
- (2) 市教育委員会主催：3年次教員研修、中堅教員研修、臨時的任用教員研修、各教科及び領域等の授業研究会や実技研修会、生徒指導、人権教育、教育相談、特別支援教育、情報教育等の研修会を実施しています。

3 教育研究奨励校一覧(市教育委員会委嘱)

平成 25・26・27 年度 草加市研究委嘱校			平成 26・27 年度 草加市研究委嘱校		
No	学 校 名	教科・領域	No	学 校 名	教科・領域
1	谷塚小学校	学力向上「国語科」	1	瀬崎小学校	学力向上「国語科」
平成 26・27・28 年度 草加市研究委嘱校			2	青柳小学校	健康・体力向上
			3	小山小学校	学力向上「国語科」
No	学 校 名	教科・領域	4	花栗中学校	道德教育
1	新田小学校	学力向上「算数科」	平成 27・28・29 年度 草加市研究委嘱校		
2	川柳小学校	草加っ子の基礎・基本			
3	新里小学校	学力向上「国語科」	No	学 校 名	教科・領域
4	花栗南小学校	学力向上「算数科」	1	草加小学校	学力向上 「国語科」「算数科」
5	氷川小学校	学力向上「国語科」			
6	八幡北小学校	健康・体力向上	2	高砂小学校	学力向上 「国語科」「算数科」
7	松原小学校	学力向上「国語科」			
			3	西町小学校	草加っ子の基礎・基本 「国語科」 「健康・体力向上」
			4	八幡小学校	学力向上「算数科」
			5	新栄小学校	学力向上「算数科」
			6	稻荷小学校	草加っ子の基礎・基本
			7	長栄小学校	学力向上「算数科」

4 成果

取組により、児童生徒の学力向上、教職員の教育研究や研修の充実が図られています。

生 徒 指 導

1 目標

生徒指導は、学校の教育目標を達成するための重要な機能の一つであり、一人ひとりの児童生徒が学校生活に生きがいを感じ、規律正しく、豊かで充実した生活を送ることができるように指導、支援するものです。こうした目標に向けて、いじめ・不登校の問題の解消をはじめ、学校支援の充実をとおして、心豊かな児童生徒の育成に努めています。

2 主な取組

目標を達成するために、次の取組を通し各小中学校での生徒指導を支援しています。

- (1) 様々な学校の問題に対して直接的に支援できる体制として、平成25年度より「草加市立小中学校問題解決支援チーム（TEAM 3S）」が発足しました。
- (2) 指導課に生徒指導担当指導員、学級支援員を配置し、各小中学校への派遣をとおり、教員が子どもと関わる時間を確保し、一人ひとりの子どもが落ち着いて学習に取り組むことができるよう、学校支援体制の充実に努めています。
- (3) 豊かな人間性の育成を目指して、道德教育の充実を図るため、埼玉県道德教育教材資料集「彩の国の道德」の活用や道德の時間などの工夫・改善について、学校訪問での指導助言や研修会を実施しています。また、豊かな体験活動として、自然教室や中学生が地域の事業所等で社会体験をする中学校社会体験事業及び読書活動などを行っています。
- (4) 指導課に設置してあるフリーダイヤル等による電話相談、教育支援室における来室相談を行っています。
- (5) 草加市小中高合同生徒指導委員会において、小学校、中学校、高等学校、児童相談所等との相互の連携協力関係を充実させるために、事例研修会や講演会を実施しています。
- (6) 学校警察連絡協議会において草加警察署及び小中学校、高等学校との連携を図っています。
- (7) 草加市立小中学校生徒指導推進委員会において、いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待等生徒指導上の諸課題に対して、調査、研究を行い、積極的な生徒指導の推進を図っています。
- (8) 学校・家庭・地域がいじめに対しての関心を高め、防止していこうとする態度や意識を持つことを目的に、平成25年度より市内全小中学校の児童生徒、教職員、保護者、PTA役員を対象とした「いじめ撲滅サミット」を開催しています。
- (9) 平成26年3月に「草加市におけるいじめの防止等のための基本的な方針」を策定するとともに、各校で「学校いじめ防止基本方針」を定めました。また、同年6月、「草加市いじめ問題対策連絡協議会等条例」を策定しました。

教 育 相 談

1 教育支援室

草加市教育支援室は、昭和46年の設置後、平成13年2月に場所の移転及び組織の改編を行い、内容、施設共に充実を図り、平成19年4月より、学校への支援を積極的に行うという視点から、教育相談室から教育支援室へと名称を変更しました。専門的な

立場から幼児、児童、生徒、保護者や学校に対して支援・相談に応じ、一人ひとりの子どもにより望ましい成長と自己実現への支援を行っています。

2 教育相談等の内容と対応する職員等

(1) 内容

一般教育相談 巡回教育相談 学級支援 学校適応指導教室「ふれあい教室」の開設 就学相談 ことばの相談 学校教育相談活動への支援 各種研修会の実施 障害児就学支援委員会、調査専門員の活動 特別支援学級設置校及び通級指導教室開設校への支援 「教育支援室リーフレット」「就学支援の手引」等の発行

(2) 職員等

室長 指導主事等 5 人 学校支援指導員 3 人 特別支援教育指導員 1 人
「ふれあい教室」指導員 3 人 臨床心理士・臨床心理専門員 4 人 特別支援相談員 2 人 巡回相談員 3 人 ことばの相談指導員 1 人 通級指導教室指導員 3 人
草加市さわやか相談員 1 1 人 スクールソーシャルワーカー 1 人 通級指導教室児童担当指導員 2 人

3 教育支援室対応状況の概要

(1) 年度別相談項目と相談者実人数及び延べ人数

(単位：人)

	平成 2 0 年度		平成 2 1 年度		平成 2 2 年度		平成 2 3 年度		平成 2 4 年度		平成 2 5 年度		平成 2 6 年度	
	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数
ことばの相談	42	288	117	413	204	504	94	384	72	341	78	388	44	286
知的発達相談	130	255	124	183	99	255	95	363	147	664	224	553	191	484
情緒障がい	300	1184	517	995	249	820	175	1125	227	1643	393	1279	322	1206
集団不適応	26	43	48	191	68	242	37	125	87	336	162	252	66	128
いじめ相談	79	181	39	63	37	105	25	53	53	383	24	53	16	20
性 格 行 動	56	239	23	46	19	37	16	82	14	98	8	56	4	12
あそび・非行	318	773	122	2010	70	850	122	3352	129	646	13	51	6	23
し つ け	21	28	8	8	5	31	4	9	6	81	10	47	4	11
就学・進路	33	108	28	33	70	85	29	45	16	21	8	12	11	30
生 活 行 動	217	548	159	811	43	121	38	212	78	379	52	157	46	118
学 習 面	25	43	23	328	17	29	23	70	60	873	439	876	317	653
不 登 校	386	1724	317	2514	230	2401	222	3026	466	3490	623	2163	443	1859
就 学 相 談	297	1203	355	1296	435	1756	253	974	272	832	291	1039	243	839
そ の 他	427	703	450	787	858	1362	648	1447	705	2459	1162	2648	1128	2009
合 計	2357	7320	2330	9678	2404	8598	1781	11267	2332	12246	3487	9574	2841	7678

(2) ふれあい教室利用者実人数及び延べ人数

(単位：人)

平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数
21	1141	17	750	14	681	23	947	27	922	25	1305	15	1114

4 成果

市内小中学校及び保護者等と連携を図りながら、様々な相談・支援を行うことで、一人ひとりの児童生徒の課題の解決が促進されています。中でも、巡回相談をはじめとする学校訪問等が充実したことで、児童生徒、保護者の相談のみならず、学校や教職員への支援も推進されました。また、中学校に設置されているさわやか相談室の機能が、市教育委員会との連携の中で一層充実し、市立小中学校におけるいじめ・不登校等の解決に成果をあげています。

さらに、学校適応指導教室「ふれあい教室」に通級していた児童生徒が、教育支援室と保護者、学校、関係機関との連携により、学校に部分復帰や完全復帰することができました。

特 別 支 援 教 育

1 特別支援教育の目標

特別支援教育は、障がいのある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けて、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その可能性や能力を最大限に高め、生活や学習上の課題を改善・克服するために適切な教育的支援を行うことを目標にしています。

通常の学級に在籍する発達障害を含む教育上特別な支援が必要と思われる児童生徒を含む障がいのある児童生徒への支援を進めるために、各小中学校に校内委員会を設置し、特別支援教育コーディネーターを校務分掌に位置付ける等、校内の特別支援教育体制の充実を図っています。

2 草加市の特別支援学級

草加市には、特別支援学級を設置している小学校が全21校36学級、中学校が全11校21学級あります。知的障害特別支援学級、自閉症・情緒障害特別支援学級が設置され、児童生徒一人ひとりの障がいの状態、発達段階、特性に応じた教育を行っています。

【平成 27 年度特別支援学級設置状況】

平成 27 年 5 月 1 日現在

学校名	児童数	学級数	学校名	児童数	学級数	学校名	生徒数	学級数
草加小	10	2	新栄小	3	1	草加中	19	4
高砂小	12	2	清門小	3	2	栄中	8	2
新田小	14	2	稲荷小	3	1	谷塚中	15	3
谷塚小	6	2	氷川小	2	1	川柳中	4	2
栄小	7	2	八幡北小	4	1	新栄中	5	2
川柳小	7	2	長栄小	1	1	瀬崎中	10	2
瀬崎小	5	2	青柳小	11	2	花栗中	4	1
西町小	9	2	小山小	2	1	両新田中	3	1
新里小	12	2	両新田小	14	2	新田中	3	1
花栗南小	5	2	松原小	8	2	青柳中	4	1
八幡小	15	2	合計 32校57学級 235人			松江中	7	2

3 草加市の通級指導教室

通常学級に在籍していることば・聞こえに課題のある児童のための通級指導教室は、小学校 3 校に 4 教室設置されています。また、情緒等に課題がある児童のための通級指導教室も小学校 3 校に 5 教室、中学校 1 校に 1 教室設置されています。

それぞれの教室では、児童生徒の言語面や情緒面の課題改善のための教育を推進しています。

【平成 27 年度通級指導教室設置状況】

平成 27 年 5 月 1 日現在

学校名	児童数	教室数	学校名	児童数	教室数	学校名	児童数	教室数
栄小 (発達・情緒)	16	2	氷川小 (発達・情緒)	20	2	八幡小 (発達・情緒)	12	1
松原小 (難聴・言語)	33	2	氷川小 (難聴・言語)	27	1	八幡北小 (難聴・言語)	19	1
栄中 (発達・情緒)	12	1	合計 6校10教室139人					

4 草加市の就学に係る教育的支援

草加市では次の事業をとおり、関係機関と連携を図り、就学に必要な情報を的確に保護者に提供しながら、保護者が適切な判断をしていけるよう支援しています。

- ・ 特別支援教育指導員や臨床心理士による計画的な学校訪問を実施することをはじめとして、より児童生徒・保護者及び学校のニーズにあった専門的な支援を推進しています。

- ・各学校における就学相談委員会などでの相談をはじめ、早期からの多角的な相談をもとに就学に係る教育的支援を推進しています。
- ・就学に係る教育的支援を図るために、専門機関の方々、専門医、臨床心理士、特別支援教育に携わる教職員で組織する草加市障害児就学支援委員会を設置しています。
- ・草加市特別支援教育巡回支援員を置き、就学に係る教育的支援が必要と判断された児童生徒の在籍する学校及び小中学校長から要請のあった学校を、保護者の意向を踏まえ巡回し、対象児童生徒の実態把握並びに指導内容及び方法に関する助言を行っています。
- ・通級指導教室に言語聴覚士及び臨床心理士を指導員として派遣し、担当教員への研修体制を整えています。

5 成果

- (1) 就学予定児や児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じ、適切な教育的支援が図られています。
- (2) 知的障害特別支援学級については、草加中学校に 1 学級増設、また、自閉症・情緒障害特別支援学級については、長栄小学校に新規に設置、草加小学校・川柳小学校・草加中学校・川柳中学校に増設し、市内に特別支援学級を、小学校に 36 学級、中学校に 21 学級設置しています。また、通級指導教室については、難聴・言語障害 3 校 4 教室、発達障害・情緒障害 4 校 6 教室を設置しています。これらの学級・教室の設置により地域で指導ができる体制づくりを目指すとともに、一人ひとりの障がいの状態や教育的ニーズに一層応じられるようになっていきます。
- (3) 特別支援学級等に 27 人（小学校 23 人、中学校 4 人）（H27.5.1 現在）特別支援教育支援員を配置し、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応えるための教育活動への支援を図っています。
- (4) 就学に係る教育的支援に関する関係組織や諸機関との連携により、幼児期からの早期就学相談・就学に係る教育的支援を推進しています。
- (5) 市教育支援室巡回相談員による市内小中学校への巡回相談を行い、障がいがあると思われる児童生徒の理解や支援・指導方法についての助言に努めています。
- (6) 通級指導教室に指導員を派遣し担当教員の資質の向上を図ることにより、児童の課題の克服や改善に向けた支援に努めています。
- (7) 市内在住の県立特別支援学校の児童生徒が市内小中学校において、「支援籍学習」に取り組み、ノーマライゼーションの理念に基づく教育の推進に努めています。
- (8) 特別支援教育指導員を配置し、特別支援学級の新設学級及び経験年数の浅い特別支援教育担当者を中心に巡回支援を行い、指導力の向上と特別支援教育の充実に努めています。
- (9) 特別支援教育担当育成研修会を行い、特別支援教育に携わる人材の発掘及び育成を図っています。

学 校 給 食

本市の学校給食は、草加小学校において昭和23年に週3回のミルク給食で開始されました。完全給食は小学校では昭和41年から、中学校では昭和45年から実施され、長栄小学校及び新田中学校が併設校として一つの調理場であるほかは、各校単独調理場方式（自校方式）で実施されています。

単独調理場の特長を生かして、学校行事や児童生徒の嗜好等を考慮したきめ細やかな献立により、心のこもった給食づくりを実施し、児童生徒の健やかな心と体の育成を目指しています。

なお、平成18年度から中学校の学校給食調理業務を、段階的に民間の専門会社に委託する方式を導入し、平成20年度から民間委託方式が新田中学校を除く全中学校で導入しましたが、これまでと変わらない、手づくりのおいしい給食を提供しています。

平成27年度学校給食費

区 分	月 額	年 額	年間給食回数	一食当たり
小学校	4,000円	44,000円	185回	237円
中学校	4,800円	52,800円	185回	285円

1 学校給食の目標

(1) 給食は「心の教育」

学校給食は、望ましい食習慣の形成、望ましい人間関係の育成をねらいとして、特別活動の中の学級活動に位置付けられ実施されています。本市においては、異学年と一緒に食べるたて割り給食、誕生会の会食給食、ランチルームでの給食や屋外での給食、卒業バイキング給食や複式献立によるセレクト給食、学校行事に合わせた献立等多様な給食を盛り込んでいます。

さらに、本市のシンボルである草加松原の絵柄を用いた食器を使用し、児童生徒のふるさと意識を醸成しています。また、各校に設置された調理場で働く調理士との交流を通じ、感謝の心を育て、仲間で協力し合って食器を運び、配膳すること等で、望ましい人間関係の形成を図っています。

(2) 計画的な栄養指導と献立の多様化

現代の児童生徒の食生活の実態は、飽食の時代といわれる中であって、必ずしも良好とはいえません。カルシウムの摂取が不足がちになる一方で、動物性たんぱく質や動物性脂肪の摂取が過剰になる傾向が見られるため、栄養素や食材に偏りのない正しい食生活が重要です。

そこで、本市の学校給食では、次の点に留意し、実施しています。

- ・不足しがちなカルシウム・鉄・ビタミン類の摂取に心掛ける。
- ・緑黄色野菜・大豆製品・海藻類・種実類・芋類の摂取に心掛ける。
- ・旬のものを取り入れ、季節感のある献立とする。
- ・ unnecessary 食品添加物などが使用されていると思われる食品は使用しない。

以上のことや「学校給食摂取基準」「標準食品構成表」に基づき、肉類・油脂が過剰にならないよう配慮し、魚を多く取り入れ、不足しがちな食品の摂取に留意し、おいしく、栄養のバランスのとれた献立内容とするための工夫改善をしています。

また、成長期にある児童生徒が自らの健康の維持増進を図るために必要な条件を認識させ、判断できる能力を養うため、給食指導計画と栄養指導資料を作成しています。

さらに、栄養面の知識を身に付けさせるとともに、心と体の健全な発達を指向する態度の育成をめざしています。

(3) 衛生管理の徹底

学校給食による食中毒・感染症の発生等の事故を未然に防止するために、施設・設備の点検、食材の検収、調理器具の点検整備を十分に行い、提供食の保存・検査も行っています。また、学校給食に携わる者の衛生については、細菌検査による健康管理や衛生知識を高めるための研修会等を実施し、管理の徹底を図っています。

(4) 食材の安全と安心

学校給食において、食の安全と安心は欠かせません。安全な産地の食材を使用するとともに、使用食材の放射性物質検査を行い、食材の安全性を確認し、学校給食の安全と安心の確保に努めています。

2 強化磁器食器の導入

本市では、平成3年4月から小学校全学年に、平成4年2月から中学校全学年に強化磁器食器を導入しました。温もりのある材質の食器を使うことで、給食時間の楽しい雰囲気づくりや食事マナーの指導に役立てているほか、物を大切に扱う心の育成に努めています。

3 地場産食材の使用・郷土食等の導入

市内で生産された枝豆、小松菜、くわいなどの野菜を中心に、採れたての地場産食材を積極的に使用する取組や、献立に各地の郷土料理や特産品を取り入れた「ふるさと給食」、ユネスコ無形文化遺産に登録された和食を見直す「一汁二菜の日」など、生活と食との結び付きに着目した取組を行っています。

特に地場産食材については、生産者との交流を通じて食材の生育の過程を学び、身近に存在する食品への関心を高める工夫をしています。

学 校 保 健

社会環境、生活習慣の変化による生活習慣病の増加やアレルギー疾患への対応、薬物乱用の防止など早急に取り組まなければならない問題が山積し、児童生徒の心身の健康の保持増進を図るために必要な知識と態度の習得を目的とする健康教育がますます重要になってきています。

「自分の健康は自分でつくる」という健康意識の浸透や疾病そのものを予防する「一次予防」への取組など、自己管理教育の推進や児童生徒の立場に立った心身の問題解決への支援がますます必要とされてきており、これからも学校、家庭及び地域の三者が一体となった連携が重要です。

人生の基礎となる学校生活が児童生徒にとって健康で活力に満ちたものになるよう、健康教育及び安全管理の充実を図ります。

1 学校保健・安全の充実

- (1) 就学時健康診断をはじめとし、児童生徒及び教職員の様々な検診を実施し、事前・事後指導を通じて健康管理の推進と学校保健の充実を図ります。
- (2) 小学校4年生を対象に日々の生活習慣が深く関わる小児生活習慣病予防健診を平成4年から実施し、年少のうちから自分の健康は自分でつくるという自己健康管理の視点で充実を図ります。
- (3) 小学校1・4年生及び中学校1年生を対象に心臓検診を実施し、平成20年度からは地域の中核病院である草加市立病院で心臓精密診療（精密検査）を実施しております。
- (4) 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師等の医療関係者や関係機関との連携を強化し、児童生徒のアレルギー疾患において、「学校生活管理指導表」を活用し、これまで以上に適切な管理を図るほか、熱中症対策、むし歯や歯周病の予防、インフルエンザや麻疹等の感染症予防対策を一層推進し、健康管理及び学校環境衛生の充実に努めます。
- (5) 登下校を含め、児童生徒の行動実態に応じた安全対策や指導を行い、学校管理下で発生する事故の防止に努めます。
- (6) 全小中学校にAED（自動体外式除細動器）を配備し、「いざ」というとき、いつでも・どこでも・だれでもがAEDを使用できるよう消防本部と連携し、救命講習会を実施しています。

2 保健室備品の整備充実

身長計、体重計、マットレス及びベッドなどの保健室備品の整備充実を図ります。

3 草加市学校保健会

学校医、学校歯科医、学校薬剤師、学校長、保健主事、養護教諭、学校栄養士及びPTA関係者で構成されている草加市学校保健会の活動（理事会、講演会及び会報の発行など）をとおして、健康教育及び安全教育の計画的な実施と指導の充実を図ります。

市立小学校の紹介

(児童数・学級数は、平成27年5月1日現在)

学校紹介の内容

- <教育目標>
- <研究主題>
- <重点教科等>
- <特色ある学校づくりへの取組>
- (1) キャッチフレーズ
- (2) 取組内容
- (3) 成果
- など

草加小学校

創立年月日 明治5年5月15日
学級数 25学級 校長 上野 和敏
児童数 730人 教頭 和田 卓



- <教育目標>
考える子 思いやりのある子 たくましい子
- <研究主題>
思考力・表現力を育てる国語・算数の指導法の研究
～言語活動が充実した学習活動を通して～
- <重点教科等>
学力向上「国語・算数」
- <特色ある学校づくりへの取組>
- (1) キャッチフレーズ
『未来へはばたけ けやきっ子』
- (2) 取組内容
生きる力の育成
・日々の授業の充実を図る研修への取組
・草加っ子の基礎・基本への取組
・「あいさつは一生の宝物」を合言葉としたあいさつ運動
・幼稚園・保育園・小学校・中学校の連携協力校及び小中学校連携の研究団体としての取組
地域と共に歩む学校
・家庭・学校・地域が一体となった教育の推進
・「おはなしの森」地域の人材による読み聞かせ
・平成塾との交流
潤いのある学校づくり
・「ふるさと森」の保護
・「じゃぶじゃぶ池」(ビオトープ)の学習教材としての活用
- (3) 成果
143周年を迎える伝統校として、家庭・学校・地域が一体となり、児童の生きる力の育成が着実に図られている。
また、地域の行事へ参加することで、地域に根ざした「ふるさと草加」を愛する児童が育っている。

高砂小学校

創立年月日 昭和29年4月1日
学級数 28学級 校長 後藤 裕史
児童数 952人 教頭 長江 清和



- <教育目標>
○あかるく ○かしこく ○たくましく
- <研究主題>
確かな学力の向上を目指した指導法の研究
- <重点教科等>
学力向上(算数科を中心に)
- <特色ある学校づくりへの取組>
- (1) キャッチフレーズ
「世界の中で生きる人間としての自覚がある高砂の子」
- (2) 取組内容
学習規律を徹底し学力向上を図る
・市教育委員会「学力向上」研究委嘱校として実践研究を推進
・土曜授業の実施等、授業時数の確保と学習機会の充実
積極的な生徒指導の徹底(凡時徹底)
・気持ちの良いあいさつ、きれいな学校、整った学校
学級経営を基盤に学年で取り組む教育指導
・組織で共通理解をもって取り組む指導の充実
健康・体力の維持・増進を図る
・指導と評価の一体化を図った体育授業の充実
・さわやかタイム等体育的諸活動の充実
国際理解教育の推進
・外国語活動の充実 ・国際交流の推進
- (3) 成果
本校教育活動に対し、理解が深まり、家庭・地域と連携した教育活動が推進されている。その結果、明るい挨拶、人の話を聴く、進んで体を動かす等の児童の姿が見られるようになってきている。『明るく、楽しく、元気で、前向きに!』を学校、家庭、地域の合言葉に、児童、保護者、教職員が一体になった教育活動に取り組んでいる。

新田小学校

創立年月日 明治6年4月26日
学級数 19学級 校長 森田 恵子
児童数 502人 教頭 平野 晴彦



- <教育目標>
○よく学ぶ子 ○思いやりのある子 ○たくましい子
- <研究主題>
生き生き元気! 自ら考え表現する児童の育成
-めざす児童像-
・自ら考える児童 ・表現する児童 ・活用する児童
- <重点教科等>
学力向上「算数」
- <特色ある学校づくりへの取組>
- (1) キャッチフレーズ
「生き生き元気、伸び育つ新田っ子」
- (2) 取組内容・成果
学力向上教育研究奨励校としての研究実践の推進
・草加っ子の基礎・基本の確実な定着
・基礎・基本タイムの導入、ノート指導の徹底
・算数的活動の充実をとおした思考力・表現力の向上
・学んだことを進んで活用する態度の育成
○自分の考えを書いたり発表する児童が増えてきた。
幼保小中の連携の推進
・保育園での保護者向け講演会の実施
・小中合同研修会の実施
・中学生参加による計算力アップセミナー、陸上教室
○幼保小中の連携が進み、連携して子どもを育ていく体制ができてきた。
元気なあいさつのあふれる学校
・年間をとおした、あいさつ運動の推進
・「元気なあいさつ、はっきり返事」の合言葉
○元気なあいさつが学校中で聞かれるようになった。

谷塚小学校

創立年月日 明治 6 年 1 月 2 5 日
学級数 2 7 学級 校長 小櫃 真人
児童数 8 6 0 人 教頭 鈴木 輝子



- <教育目標> やさしく つよく かしこく
<研究主題> 自ら学び豊かに表現する力を育てる授業の研究
自分の考えを言葉をとあして伝え合うことができる児童の育成
<重点教科等> 国語科
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ「ふるさと ふれあい 谷塚小学校」
(2) 取組内容
○全職員の「熱意・誠意・創意」を結集させ、信頼される学校づくりを推進する。
基礎・基本の定着
・指導法の工夫改善 ・日課表の工夫 ドリル学習の継続
・家庭との連携 ・サマースクールの実施 ・特別支援教育の充実
落ち着いた教育環境の構築
・基本的生活習慣の確立 ・学習ルールの徹底
・環境美化 掲示教育及び清掃活動（清掃方法の指導）
生徒指導・いじめの根絶
・教育相談の充実 教育相談日の設定〔中学校さわやか相談員との連携強化〕・教育相談事例研修会の深化を図る
・巡回相談員等専門家を招聘しての研修 C A P 等外部団体の活用
家庭地域との連携《絆を深める教育活動》
「8 が付く日は谷塚の日」
・早寝、早起き、朝ご飯の徹底 ・ふれあいギャラリー参加 ・花で街を
・学校公開、授業参観 ・学校外部評価の実施と公開
・学校評議員会、安全安心推進連絡協議会の充実
幼保小中連携教育を踏まえた取組・活動
・小1問題、中1ギャップの課題解決を目指す取組
その他
・各種大会への積極的参加(陸上・バスケ・相撲等)
・複合施設としての利点を活かした教育活動の工夫
(3) 成果
・地域との連携が深まり、学校・家庭・地域が一体となった教育活動の充実を図ることができた。

栄小学校

創立年月日 昭和 3 8 年 4 月 1 日
学級数 2 2 学級 校長 峰崎 隆司
児童数 6 5 0 人 教頭 長野 典子



- <教育目標> ・よく考える子 ・思いやりのある子
・ねばり強い子 ・体をきたえる子
<研究主題> 児童が生き生きと活動する授業づくり
<重点教科等> 「栄小スタンダード」(国語科)
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
「さわやか かつき えがの さかえ」
(2) 取組内容
○魅力ある学級づくり
= 児童が存在感を見出せる学級づくり
○メリハリのある教育
= 「当たり前」の事を当たり前でできる」(凡事徹底)
○ノーチャイムの学校生活
= 時間を守る、児童の主体的な活動の促進
○研修体制の充実
= 国語科・説明文の「栄小スタンダード」の確立
○家庭学習の充実
= 「家庭学習の手引き」の活用と自主学習
○授業力の向上
= ユニバーサルデザインの視点による授業づくり
○人権教育の推進
= 「ハートの日」の活用
○積極的な生徒指導
= 「栄っ子の自慢」づくりの推進
○きれいな学校
= 新しい校舎をきれいに保ち、大切に使う。
(3) 成果
・ノーチャイムの学校生活が定着している。
・「家庭学習の手引き」を活用した家庭学習の習慣化が身に
ついてきている。

川柳小学校

創立年月日 明治 6 年 1 月 1 5 日
学級数 2 2 学級 校長 浅賀 利一
児童数 6 9 0 人 教頭 奥村 勇



- <教育目標> かしこく なかよく たくましく
<研究主題> 笑顔と活気あふれる川っ子の育成
<重点教科等> 草加っ子の基礎・基本
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
「子どもたち一人ひとりを大切に、笑顔と活気あふれる川柳小」
(2) 取組内容
学力向上の取組
・夏休み学習会、昼休み学習会の実施
・高学年における一部教科担任制の推進
「明るいあいさつ はっきり返事」を重視した取組
・あいさつがんばり隊や川っ子向上委員会、青柳中と
連携したあいさつ運動等の推進
外部人材活用の推進を図った取組
・県夢の配達便事業(ドクターヘリ)、ハローワークの活用などによるキャリア教育の推進
・ケタイ安全教室、キレイの種まき教室等の実施
・校区在住の茶道師範による伝統文化学習の実施
学校応援団の取組
・学校ファーム・読み聞かせ(クレヨン会)・安全見守り・授業支援・環境整備等の推進
幼保小中連携の取組
・入学前の園児を招待した学校紹介の実施
・定期的な幼保小連絡協議会・小中連絡協議会の開催
・青柳中・川柳中との連携による指導体制の充実
(3) 成果
・体験活動を重視したことにより、学校生活に意欲的な児童が増えた。着実な学力向上にもつながっている。

瀬崎小学校

創立年月日 昭和 4 2 年 4 月 1 日
学級数 2 3 学級 校長 益岡 和正
児童数 6 8 9 人 教頭 林 奈緒美



- <教育目標> 心豊かで たくましい子
《笑顔いっぱい学校》
<研究主題> 自分の思いや考えを伝え合うことができる
子の育成～単元を貫く言語活動を通して～
<重点教科等> 国語科
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
まなびいっぱい (学びを生かす)
たくましさいっぱい (健康な体を作る)
やさしさいっぱい (思いやりの気持ちを育てる)
(2) 取組内容
学力の向上
・基礎基本の徹底 ・学習規律の徹底
・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業実践
・規律正しい生活習慣 ・きまりや約束を守る
・読書の奨励
体力の向上
・体育授業の充実 ・運動遊びの活性化
・保健教育(養護教諭の授業参加・健康な体づくり)
・食育教育(栽培活動と栄養士の授業参加)
思いやりの心の育成
・道徳教育の充実 ・特別支援教室の一層の推進
・学習環境の整備(清掃活動 教室内の掲示)
・いじめを許さない学級、学校
(3) 成果
地域の方々の学習支援により学習内容が豊かになった。
枝豆等の栽培活動を通して食に対する関心が高まった。

西町小学校

創立年月日 昭和42年4月1日
 学級数 24 学級 校長 森田 郷子
 児童数 747 人 教頭 早津 次仁



- <教育目標> よく考え 工夫する子
 心豊かで 思いやりのある子
 たくましく ねばり強い子
- <研究主題> いきいき西町っ子の育成
 ～自分の考えを豊かに表現する児童、
 進んで運動に取り組む児童の育成～
- <重点教科等> 国語科・体育科
 <特色ある学校づくりへの取組>
- (1) キャッチフレーズ
 感動いっぱい 夢いっぱい みんな生き生き 輝け西町
- (2) 取組内容
 「パワーアップタイム」等の実践による基礎学力の向上
 「朝マラソン」「青空タイム」等をとおしての健康・
 体力づくり
 縦わりペア学年活動等、体験活動の充実による豊かな
 心の育成
 朝読書や読み聞かせの実践、及び中央図書館との連
 携等の充実による読書力の向上
 「あいさつ運動・家庭科学習支援・登下校の見守り」
 等の学校応援団の充実
 幼稚園・保育園・中学校との連携推進
- (3) 成果
 多様な学習活動の実践により、学力向上が図られた。
 朝マラソンの取組等により児童の体力が高まった。
 幼・保・中との連携及びスムーズな接続が進んだ。
 PTAや地域の方々との情報・行動連携が図られた。
 読み聞かせ活動等により、読書への関心が高まった。

新里小学校

創立年月日 昭和45年4月1日
 学級数 23 学級 校長 河野 健
 児童数 714 人 教頭 山村 一晃



- <教育目標> かしこく なかよく たくましく
 <研究主題>
 「自分の思いや考えを持ち、言語で表現できる児童の育成」
 ～書く活動・読む活動をとおして～
- <重点教科等> 国語科
 <特色ある学校づくりへの取組>
- (1) キャッチフレーズ
 誇りの持てる学校 新里小
 につこにこで さわやかなあいさつ ともだちいっぱいの学校
- (2) 取組内容
 わかる・新里っ子の基礎・基本、漢字・計算の定着、
 本とのふれあい・読み聞かせ、少人数指導
 助け合う・兄弟学級交流活動、児童会活動（募金活動
 ・リサイクル活動・子どもまつり）、自然教室
 鍛える・マラソン・なわとび・相撲教室、各種大会の
 参加、水泳教室、プロサッカーチームの派遣授業
 ふれあう・学校応援団、ロング昼休み、平成塾、地域
 学習（皮革・せんべい焼き体験）の充実
 つながる・近隣の幼稚園・保育園・中学校・高等学校
 との連携交流授業、あいさつ運動、地域とのふれあい
- (3) 成果
 元気でさわやかなあいさつや返事ができる。
 子ども達を大切にす地域で素直な子が育っている。
 「草加っ子の基礎・基本検証問題」において「国語」
 95%「算数」4学年で市平均以上を達成した。

花栗南小学校

創立年月日 昭和47年4月1日
 学級数 15 学級 校長 佐々木 毅
 児童数 417 人 教頭 飯田 和行



- <教育目標>
 ・考える子 ・思いやりのある子 ・体をきたえる子
- <研究主題>
 「自ら進んで考え、解決しようとする児童の育成」
- <重点教科等> 算数
 <特色ある学校づくりへの取組>
- (1) スローガン
 潤いと活力のある花栗南小の教育
- (2) 取組内容
 一人ひとりの個に応じた教育を推進し、
 児童に確かな学力と生きる力を育成する。
- ・授業の充実による確かな学力と生きる力の育成
 - ・少人数指導等の充実
 - ・家庭学習の習慣化の推進
- 心潤う生徒指導による豊かな心の育成
- ・基本的生活習慣の定着「礼を正し、場を清め、時を守る」
 - ・返事・あいさつの励行「あいさつじまん 南っ子」
 - ・心の教育の充実
 - 道徳教育の充実
 - 読書体験と読み聞かせ
 - 人権教育の充実
 - ・いじめ・不登校0を推進 いじめ防止対策基本方針
 - 定期的な調査・チーム体制での対応
 - 早期発見、早期対応
- 個に応じた体力づくり
- ・自己目標の設定 ・基礎体力の向上
 - ・元氣まんてんカード ・朝の運動の充実
 - ・各種体育の行事への積極的な参加、啓発

八幡小学校

創立年月日 昭和48年4月1日
 学級数 28 学級 校長 輿水 功
 児童数 834 人 教頭 宮崎 知彦



- <教育目標> 勉強する子 良い子 強い子
 <研究主題> 主体的に学ぶ児童の育成
 ～児童が「できた」「わかった」と学ぶ喜びを感じる算
 数科の授業をめざして～
- <重点教科等> 算数
 <特色ある学校づくりへの取組>
- (1) キャッチフレーズ
 「子どもたち一人ひとりを大切にする八幡小の教育」
- (2) 取組内容
 「やる気で勉強」
 ・確かな学力の定着（授業の工夫改善・学習規律の確
 立）
 ・意欲的に学ぶ力（家庭学習の習慣化）
 「はっきりあいさつ」
 ・豊かな心の育成（元氣なあいさつ、返事、靴そろえ
 本とのふれあい一人20冊）
 ・基本的生活習慣（早寝、早起き、朝ご飯）
 「たくましい体づくり」
 ・体力の向上（課題の克服・投力・走力・跳躍力）
 ・主体的な体力づくり（一日一回汗をかく、グリーン
 コース100周、休まないで登校）
 地域人材やボランティアの支援・協力で安心安全な学
 校生活と稲作体験
- (3) 成果
 草加市基礎基本検証テスト(国語・算数)96%以上
 を達成した。
 各種大会の優勝・入賞者が増加した。

新栄小学校

創立年月日 昭和49年4月1日
 学級数 16学級 校長 青柳 晃一
 児童数 468人 教頭 岡田 安弘



- <教育目標> なかよく かしくく たくましく
 <研究主題> 生き生きと学び、確かな学力を身につける児童の育成
 <重点教科等> 算数科
 <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 新栄スタンダード
 ―あたり前の事があたり前にできる―
 (2) 取組内容
 基礎学力の確実な定着と豊かな心の育成に向け、指導法の工夫・改善、読書タイム、音読タイム、ドリルタイムさわやかタイム等の特色ある教育活動
 世代を超えた平成塾との交流として、昔遊び・折り紙・フォークダンス・茶道・植栽活動等の豊かな体験活動
 「笑顔いっぱい瞳輝く新栄っ子」の実現に向け、あいさつ運動、なかよしタイム、スカイラウンジ給食、お誕生会食等の特色ある教育活動
 「新栄スタンダードあたり前の事があたり前にできる」の学校像を目指し、基礎・基本の徹底、笑顔・潤い・心に響く特色ある教育活動を実践
 (3) 成果
 潤いと心に響く特色ある教育活動を、地域・家庭との連携により展開し、安全で安心な学習環境づくりへの努力に対して学校関係者からの評価を得ている。

清門小学校

創立年月日 昭和51年4月1日
 学級数 32学級 校長 石崎 明子
 児童数 1043人 教頭 土屋 貴一
 教頭 大澤 英雄



- <教育目標> なかよく かしくく たくましく
 <研究主題> 基礎基本を確実に習得し、自信を持って学習できる児童の育成
 <重点教科> 算数科
 <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 『にこ、はい、ピン』
 ～笑顔であいさつ、はっきり返事、背すじをピン～
 (2) 取組内容
 児童を中心に据え、愛情と信頼のもとに一人ひとりの児童を大切に教育活動
 時代の要請に柔軟に対応し、新しい教育の在り方を研究、実践するとともに、基礎・基本の学習の徹底
 体力の向上を図るとともに、心身ともにたくましい児童の育成
 道徳教育の充実にも努めるとともに、全教育活動を通じて、いじめを許さない思いやりのある児童の育成
 「外国語活動」の充実及び「算数」における指導法の工夫・改善
 「環境が人を育てる」を銘として、安全で清潔な教育環境の整備。言語環境を整え信頼関係に基づいた好ましい人間関係の醸成
 特別支援学級との交流教育等をととして、互いに認め合い尊重し合う、心豊かな児童の育成
 (3) 成果
 話し方・聞き方の基礎技術が向上し、自分の考えを表現し伝えあうことができるようになった。
 道徳コーナーの設置・みんなの道徳の挿絵の活用、「友だちの日」の取組をととして、友だちと考えを交わしたり、自分の考えを表現したりすることができるようになった。

稲荷小学校

創立年月日 昭和52年4月1日
 学級数 18学級 校長 柳武 尚広
 児童数 543人 教頭 渡部 涼子



- <教育目標> かしくく なかよく たくましく
 <研究主題> 豊かに学び、互いに学び合い
 高め合う児童の育成
 ～一人ひとりの良さを伸ばし、生かす学習指導の工夫～
 <重点教科等> 算数科 道徳 特別支援教育
 <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 力いっぱい 夢いっぱい 未来に羽ばたけ稲荷小
 (2) 取組内容
 「生きる力」を育む学校づくり
 「目をかける教育」「声をかける教育」「心をかける教育」
 分かる授業づくりとサンタタイムで基礎・基本の定着
 基本的生活習慣の確立、いなか体操で体力向上の推進
 豊かな心を育む道徳教育の充実
 魅力ある学校づくり
 ・学習環境づくりの推進 花いっぱい潤いのある環境
 学校ファームの充実、人材バンクの整備
 ・学校整備の推進 クリーンいなり、アルミ缶・ペットボトルキャップ回収
 校舎内外の美化と緑化
 ・地域に根ざす学校教育の推進 家庭・地域との連携
 学習ボランティアの活用・読み聞かせ活動・放課後子ども教室、松江中との連携
 (3) 成果
 平成24、25、26年度算数科を中心に研究を行った。
 児童一人ひとりの基礎学力の向上が図られ、学力・体力・規律ある態度の向上が見られた。
 学校環境の整備の充実にも力をつぐことにより、児童の豊かな心の育成を図ることができた。

氷川小学校

創立年月日 昭和52年4月1日
 学級数 20学級 校長 小松 薫樹
 児童数 552人 教頭 皆川 賢司



- <教育目標> 学びあい 助けあって 自分を高める
 <研究主題> 自分の思いや考えをもち、伝え合うことのできる児童の育成
 ～国語科における話す・聞く活動の工夫を通して～
 <重点教科等> 国語科
 <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 潤いと響き 子どもたち一人ひとりを大切にするあたたかな学校
 (2) 取組内容
 子どもが伸びる学校
 ・教育課程を完全実施し、指導の質を高める。
 ・特別支援教育を充実させる。
 ・TT・少人数指導を充実させる。
 子どもが生き生きと活動する学校
 ・児童理解を大切に。 ○いじめのない学校をつくる。
 ・安心・安全な学校をつくる。
 ・子どもが活躍する学校をつくる。
 保護者・地域と共に歩む学校
 ・保護者との報告連絡相談を大切にする。
 ・PTA（父母と教師の会）活動と連携協力する。
 ・学校応援団を核とした地域と連携する。
 ・10月31日学校公開を充実する。
 ・幼稚園・保育園・中学校と連携する。
 ・学校利用団体と連携する。 ○学校評価を公開する。
 ・保護者アンケートを教育活動に生かす。
 教育環境を大切に学校
 ・教職員の高い自覚を醸成する。
 ・清潔できれいな学校にする。
 ・掲示教育を充実する。 ○緑に囲まれた学校をつくる。

八幡北小学校

創立年月日 昭和54年4月1日
 学級数 16学級 校長 清水 孝二
 児童数 448人 教頭 菊地 直樹



- <教育目標>
 なかよく(徳) かしく(知) たくましく(体)
 <研究主題>
 自ら学び、ともによりよく生きようとする児童の育成
 <重点教科等>
 体育科
 <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 「咲け 実れ 八北の子」
 (2) 取組内容
 積極的な生徒指導を徹底する(凡事徹底)
 学級経営を大切に学習指導
 学年で取り組む教育指導
 5つの「0」・いじめ0・不登校0・学校事故0・
 むし歯0・給食未納0
 体育科を中心に技能を確実に身に付ける指導法の工夫
 朝の読書タイムの充実
 週1回朝のスポーツ(4分間走・なわとび)
 地域との連携(八北まつり・みどりの学校ファーム八
 北農園等)
 (3) 成果
 基本的な生活習慣・学習規律が身に付いてきている。
 外国語活動の指導方法について綿密な計画のもと、充
 実した学習活動が成立し、英語に親しむ児童が多くな
 った。
 交流活動をおし、豊かな心の醸成につながった。
 体育科指導法の共通理解が図れた。

長栄小学校

創立年月日 昭和55年4月1日
 学級数 15学級 校長 岩田 直代
 児童数 455人 教頭 村田 隆一



- <教育目標>
 よく考える子(知) 思いやりのある子(徳) たくましい子
 (体)
 <研究主題>
 「おや?」「できた!」「なるほど!」子どもの心が
 動き出す算数授業の創造
 <重点教科等>
 算数科、幼保小中連携教育
 <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 「夢に向かってがんばり続ける子」
 (2) 取組内容
 授業等をととした基礎・基本の定着
 「長栄小の基礎・基本」の徹底
 算数の授業研究
 規律ある生活の徹底
 人、本、自然等とふれあう体験活動
 読書・音読活動・ペア学級の活動
 「ボブラ学習」(総合的な学習の時間)
 地域や平成塾との連携・交流
 平成塾による読み聞かせ・茶道教室等
 地域によるぼうはん隊活動
 (3) 成果
 基礎学力の充実が図られた。
 地域等との連携や開かれた学校づくりに成果が得られ
 た。(保護者アンケートから)
 算数の研修を進めることで、子どもにとって「分かる
 授業」を推進できた。

青柳小学校

創立年月日 昭和57年4月1日
 学級数 14学級 校長 鈴木 有津子
 児童数 404人 教頭 田代 義明



- <教育目標>
 (あ) - 明るく元気な子(お) - 思いやりのある子
 (や) - やりとげると(ぎ) - きたえる子
 <研究主題>
 自ら心身を「きたえる子」の育成
 ~体育科における児童の関わり合いを通して~
 <重点教科等>
 体育科
 <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 「元気なあいさつ、笑顔がや学校」
 (2) 取組内容
 青小っ子の基礎・基本の定着
 ○学力向上
 ・創意あふれる授業づくりと家庭学習の習慣化
 ・小中連携、ユニバーサルデザインをいかした分かる授業の推進
 ・読書活動の充実
 ○体力向上
 ・運動能力及び意欲の向上を図る授業づくり
 ・健康及び食育の充実
 ○豊かな心・規律ある態度の育成
 ・助け合い、励まし合う態度の育成及びあいさつ、返事の習慣化
 ・授業規律と決まりの徹底
 信頼し合い絆を深める地域交流
 ・地域の人材の活用
 ・地域ぐるみの安全、安心運動の推進
 (3) 26年度の成果
 ・認め合い、励まし合う児童の姿が見られるようになった。
 ・小中連携した教育活動をおして、教師の授業力や児童の学習
 意欲の向上が見られた。
 ・青小体操を取り入れた学習過程を確立できた。

小山小学校

創立年月日 昭和57年4月1日
 学級数 16学級 校長 鈴木 雅彦
 児童数 482人 教頭 村山 岳視



- <教育目標>
 進んで学ぶ子、体をきたえる子、思いやりのある子
 ねばり強い子
 <研究主題>
 豊かな言葉で、自分の思いや考えを伝え合うことができる児童
 の育成
 ~書く活動をおして伝え合いを深める国語の授業~
 <重点教科等>
 国語科
 <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) キャッチフレーズ
 「学びいっぱい、友だちいっぱい、汗いっぱいの夢膨らむ
 学校」
 (2) 取組内容
 基礎学力の定着
 ・基礎・基本の確実な定着をめざしたドリル学習の実施
 ・学び合いができる学習集団づくり・小山小授業の約束の
 徹底指導
 健康・体力の向上
 ・運動量豊富な体育授業の実施・積極的な外遊びの励行
 ・運動と望ましい食習慣の育成
 「小山小5つのします」の徹底指導
 ・命を大切にします・あいさつをしっかりとします
 ・友達と仲良くします・そうじを一生懸命します
 ・家庭学習をします
 (3) 成果
 基本的な生活習慣、学習習慣が身に付いてきた。
 漢字や計算の学習を意欲的に取り組む児童が増えてきた。
 異学年の友だちと進んで遊ぶ児童が増えてきた。

両新田小学校

創立年月日 昭和 57 年 4 月 1 日
 学級数 15 学級 校長 中村 俊臣
 児童数 442 人 教頭 松原 恵子



松原小学校

創立年月日 平成 21 年 4 月 1 日
 学級数 14 学級 校長 中河 正明
 児童数 393 人 教頭 小林 和美



<教育目標>

進んで学ぶ子 やさしい子 たくましい子
 (学力・気力・体力の3つの力もちの子どもの育成)

<研究主題>

「やさしい子」を共に育む(共育)

～達成感・成就感を持たせる授業展開と自己存在感を持たせる
 家庭との連携～

<特色ある学校づくりへの取組>

(1) キャッチフレーズ

『 あたたかい心・あつい思い 』

(2) 取組内容

縦わり活動

ペア遠足、交流給食・交流遊び

両小っ子の基礎・基本の徹底

チャレンジタイム、両小寺子屋の実施で学力向上

礼を正し、時を守り、場を清める

教職員・児童・保護者・地域の方々に見える活動をととし
 て、健全育成を推進

幼保小中の積極的な連携

幼保・小連携事業の協力校 小中合同あいさつ運動

地域の中で輝く学校

下校時見守り、朝の読み聞かせ、体験(ものづくり、箏の
 演奏・茶道体験等、学校・PTA・地域一体となった学校
 応援団活動

(3) 活動の成果

温かい地域に見守られ、児童は、やさしい子に育ち、落ち
 着いた授業態度、元気いっぱいの毎日で、楽しい学校生活
 を送っている。

<教育目標> 心身ともに健康で、自ら学ぶ子

<研究主題> 『主体的に学び、

表現する喜びを感じる学習の創造』

<重点教科等> 学力向上「国語科」を中心とした取組

～豊かな言語活動の充実を図る指導をととして～

<特色ある学校づくりへの取組>

(1) キャッチフレーズ

『 みんなで力を合わせ、元気いっぱい、
 笑顔いっぱいの学校 』

(2) 取組内容

- 学校応援団等の地域力を活用した自然・社会体験的な教育
 活動のより一層の充実を図る。
- 朝のあいさつ運動を地域の方や保護者と共に推進し、
 毎日元気と笑顔いっぱいの豊かな心の児童育成を目指す。
- 全国及び県学力調査の結果検証から課題解決に着実に取り
 組み、確かな学力の向上を目指す。
- 毎日の業間マラソンで「たくましい体」づくりを推進する。
- 小中学校との連携による外国語活動の充実を図る。
 家庭学習の啓発により「自ら学ぶ」子の育成の推進
- 松原小ボランティアバンクはなぐり物語による読み聞かせ
 や、俳句づくりなどの「特色ある学校」づくり。

(3) 活動の成果

- 保護者・地域の方の支援を得て、児童一人ひとりの個性を
 大切にした教育活動の充実が図られている。
- 重点教科「国語科」の研究を推進し、日々の授業の工夫・
 改善をPDCAサイクルで検証・実践を進め、環境を整備し、
 児童への確実な学力の定着が図られてきている。

市立中学校の紹介

(生徒数・学級数は、平成27年5月1日現在)

学校紹介の内容

- < 教育目標 >
- < 研究主題 >
- < 重点教科等 >
- < 特色ある学校づくりへの取組 >

- (1) キャッチフレーズ
- (2) 取組内容
- (3) 成果

など

草加中学校

創立年月日 昭和22年4月1日
学級数 24 学級 校長 並木 正成
生徒数 777 人 教頭 野村 真一



- < 教育目標 > 目標を持ち努力する生徒
- < 研究主題 >
「草加っ子の基礎・基本」
(「教育に関する3つの達成目標」)の定着
- < 重点教科等 > 全教科・領域
- < 特色ある学校づくりへの取組 >
- (1) キャッチフレーズ
「あ・か・つ・き」の実践
 - (2) 取組内容
幼・保・小・中の連携教育を通して、分かる授業の実践と基礎・基本の定着に取り組み、豊かな人間性と確かな学力の向上を図る。
生徒の目指す「あかつき」を支援する。
あ・・・明るい あいさつ(規律)
か・・・活発な かつどう(自主)
つ・・・強い つながり(友情)
き・・・今日を きり開く(向上)
授業や部活動を積極的に推進し、学力・体力の向上を図る。また、安全・安心な教育環境を整備し、健康教育の充実を図る。
 - (3) 成果
向上心を持ち、共に協力し合い、意欲的な学校生活を送り、明るく活発な学校の雰囲気が醸成された。
漢字・計算・スペリングのコンテストを実施し、基礎・基本の定着を図ることができた。
部活動は、県大会をはじめ関東・全国大会への出場を果たし、文武両道を実践することができた。

栄中学校

創立年月日 昭和22年4月1日
学級数 17 学級 校長 入内島 均
生徒数 544 人 教頭 及川 祐一



- < 教育目標 > ○自ら学び考え行動する生徒
○豊かな心をもち思いやりのある生徒
○健康でたくましい生徒
- < 研究主題 > 「確かな学力の向上を目指して」
道徳実践力の育成～学校全体の教育活動を踏まえて～
- < 重点教科等 > 全教科等
- < 特色ある学校づくりへの取組 >
- (1) キャッチフレーズ
【さ】爽やかなあいさつ
【か】輝く笑顔
【え】英気あふれる
 - (2) 取組内容
数学・英語の少人数指導及び小学校との外国語授業交流学習
学習補助員・学生ボランティア等の効果的な活用
朝の挨拶運動、資源回収、校内外クリーン活動の実施
体験的な学習・ボランティア活動の充実
学校農園を利用したサツマイモ等の栽培
校内の草木、野鳥等の環境・掲示教育への活用
 - (3) 成果
学習内容が確実に身に付くようになり、進路の自己実現を図ることができるようになった。
季節ごとに変わる草花や樹木に触れ、身近な動植物に関心を持たせることができた。
サツマイモ栽培等の生産活動をとおり、自然を楽しみ、守り育てる大切さを学ぶことができた。
学校全体で落ち葉はきや除草、ゴミ拾いなどを行い、環境を整えようとする姿勢を育てることができた。

谷塚中学校

創立年月日 昭和22年4月1日
学級数 22 学級 校長 野口 繁
生徒数 707 人 教頭 中谷 浩一



- < 教育目標 > ○自ら学ぶ生徒(知)
○思いやりのある生徒(徳)
○自ら鍛える生徒(体)
- < 研究主題 >
生徒一人ひとりに確かな学力を身に付けさせる指導法の研究
～小中連携による相互授業を通じた取組～
- < 重点教科 >
全教科・特別支援教育
- < 特色ある学校づくりへの取組 >
- (1) キャッチフレーズ
「文武両道」
 - (2) 取組内容
「分かる授業」による確かな学力の育成
・数学・英語の少人数指導の充実
・授業を中心とした研修の充実
・家庭学習ノートを使った学習習慣の確立
学校間連携を図った、キャリア教育の充実
・県立草加南高校、学区内小学校との交流
・出前授業の実施による学ぶ意欲の向上
地域社会との交流をとおりした豊かな心の育成
・保護者、地域の人材をいかした教育活動
・部活動指導の充実
・地域の行事への参加
69年の伝統に根ざした教育
・あいさつ運動、部活動
 - (3) 成果
学校間連携や地域との交流をとおり、さわやかなあいさつの定着、主体的な学習活動への取組、部活動の充実、諸行事等への積極的な態度が育成された。

川柳中学校

創立年月日 昭和22年4月1日
 学級数 15 学級 校長 本間 錦一
 生徒数 470人 教頭 小林 一男



- <教育目標>
 「賢く・優しく・逞しく」
- <研究主題>
 「主体的に学び、夢中になって活動する生徒の育成」
 ～川柳中SMTスマイルプランを通して～
- <重点教科等> 全教科・領域
- <特色ある学校づくりへの取組>
- (1) 目指す学校像
 学ぶ喜びを味わえる学校
 豊かな心と生きる力を育む学校
 心身ともに健康な生徒を育てる、潤いのある学校
 安全・安心で地域に開かれた学校
 - (2) 取組内容
 生徒の自立を促す学年・学級経営の充実
 学校力を高める校内研修の充実
 潤いのある学校環境の整備と美化の推進
 保健・給食指導の充実及び体力の向上
 豊かな人間関係の育成
 一人ひとりの自立を引き出す特別支援教育の推進
 進路指導・キャリア教育の充実
 学校防災体制の確立と安全・安心な学校づくり
 - (3) 成果
 学習意欲を高め、学力向上を目指す授業の工夫に取り組み、学校評価で、「意欲的に学習する」生徒の比率が倍増した。
 また、生徒を認め、鍛え、育む中で自己肯定感を育み、「あいさつやルールを守る」「部活動・委員会活動」に積極的に取り組む姿勢が定着してきている。

新栄中学校

創立年月日 昭和49年4月1日
 学級数 17 学級 校長 川原田 一郎
 生徒数 582人 教頭 河本 静夫



- <教育目標> 1 自ら学ぶ生徒 (知)
 2 思いやりのある生徒 (徳)
 3 健康でたくましい生徒 (体)
 4 正しい行動のできる生徒 (社会性)
- <研究主題> 「人間力の育成」
 学力向上とスキル教育をとおして、生きる力を育む
- <重点教科等> 全教科・領域
- <特色ある学校づくりへの取組>
- (1) キャッチフレーズ 「人間力を育む学校」
 - (2) 取組内容
 知 - 朝読書、基礎基本を重視した授業、木曜テスト
 授業6ヶ条、英語検定、漢字検定、学習相談
 徳 - P.T.Aとの朝のあいさつ運動、
 環境教育(学校ピオトープ、野鳥観察会)
 全校で協力して取り組む行事(体育祭、文化祭)
 体 - 基礎体力づくり、種目選択体育授業、活発な部活動
 社会性 - スキル教育、体験型学習
 中高の連携 - リトルティーチャーによる国語(書写)、理科等の教科での交流
 小中連携の推進(乗り入れ授業の実施、合同野鳥観察会)
 - (3) 成果
 朝読書や授業をとおして、基礎基本の定着及び学力の向上が図れた。また、環境教育やスキル教育の実践により、豊かな心や社会性が着実に身に付いてきている。

瀬崎中学校

創立年月日 昭和51年4月1日
 学級数 23 学級 校長 関根 秀一
 生徒数 770人 教頭 高安 健次



- <教育目標>
 自らの生き方を考え、実践する生徒の育成
 「よりよく生きる」
- <研究主題>
 〇自ら考え、一人ひとりが本気で学ぶ生徒の育成
- <重点教科等> 全教科・領域
- <特色ある学校づくりへの取組>
- (1) 幼・保・小・中連携の取組
 - (2) 取組内容
 「授業の五原則」の徹底
 ・授業の用意をして待つ。 ・チャイム着席
 ・あいさつしっかり ・忘れ物をしない ・むだ話をしない
 豊かな教養
 ・基礎学力の定着、意欲・関心を高める個に応じた授業の展開、保育実習、性出会い学習
 豊かな心
 ・あいさつ運動(保護者・生徒・職員での愛の一声運動)
 規律ある態度の定着、ボランティア活動(高齢者運動会)
 花いっぱい運動、美化活動(保護者・地域の方と共に)
 健やかな体
 ・部活動への積極的参加と充実
 ・運動会での小学校(6年生対象)との交流種目
 未来
 ・社会体験事業、上級学校訪問、ふれあい講演会
 - (3) 成果
 地域の皆様とのふれあいや様々な体験をとおし、認め合い共に生きる心が培われている。地域の人材を活用し、生徒の興味・関心に応じた学習を行い、自己の生き方について問い直す力が付いてきている。

花栗中学校

創立年月日 昭和52年4月1日
 学級数 16 学級 校長 中村 常雄
 生徒数 516人 教頭 阪田 晴紀



- <校訓> 「自主創造」
- <教育目標> 「自ら考え、心豊かに、たくましく生きる」
 〇 学力を伸ばす生徒 (知)
 〇 豊かな心を育てる生徒 (徳)
 〇 心身共に健康な生徒 (体)
- <学校生活の指針> 「生きる力4カ条」
 1 時間を守る力
 2 授業に真剣に臨む力
 3 身だしなみを整える力
 4 わきまえた言葉遣いのできる力
- <研究主題> 「言語活動を充実し、生徒一人ひとりが主体的に取り組む授業づくり」
 ・学ぶ力を身に付ける生徒の育成
 ・豊かな心を育む道徳の時間の充実
- <重点教科等> 全教科・領域
- <特色ある学校づくりへの取組>
- (1) めざす学校像「夢、ふれあい、感動のある学校」
 - (2) 取組内容
 学習指導の充実
 ・分かる授業の推進と基礎学力の定着
 ・授業規律の確立、家庭学習を習慣化させる取組
 生徒指導・教育相談の充実
 ・「目をかけ、手をかけ、声をかける」指導の促進
 豊かな心を育む教育の推進
 ・生きる力4カ条の実践 ・道徳教育の充実
 心潤う生活環境づくり
 ・「ふれあい広場」、「憩いの花空間」の有効活用
 - (3) 成果
 保護者や地域の理解と協力をいただき、生徒たちは授業や行事に主体的に取り組んでいる。

両新田中学校

創立年月日 昭和54年4月1日
学級数 16 学級 校長 水澤 郁夫
児童数 544 人 教頭 高橋 整



- <教育目標> 自ら学び 心豊かに たくましく
- <研究主題> 生徒一人ひとりを大切に、夢と絆を育む学校
- <重点教科等>
- ・学ぶ意欲を高める授業の充実
 - ・主体性を伸ばす生徒指導の充実
 - ・仲間を大切にする学校
 - ・特別支援教育の充実
 - ・家庭・地域・小学校との積極的な連携
- <特色ある学校づくりへの取組>
- (1) キャッチフレーズ
生徒一人ひとりを大切にする教育の実現
- (2) 取組内容
- 一人ひとりに基礎基本を身に付けさせる
(生徒理解に基づく指導と評価の実践)
 - 一人ひとりの良さや可能性を見だし伸ばす
(生徒に内在するものを引き出す教育力)
 - 一人ひとりの命・健康を守る
(共助の学びと絆づくり、学校安全)
- (3) 成果
一人ひとりを大切にするという基本方針に係る理念が定着浸透し、それぞれの教育活動において全教職員の共通理解のもと指導改善が進められた。さらに、「授業」を核として、学ぶ意欲の向上や一人ひとりの個性の伸びを重視する具体策を展開するなど、一層の学校改善に努めることができた。

新田中学校

創立年月日 昭和55年4月1日
学級数 17 学級 校長 笠井 誠司
生徒数 545 人 教頭 鈴木 恒次



- <教育目標>
豊かな心と学ぶ意欲をもち
広い世界でたくましく生きる生徒
- <研究主題>
思考力・判断力・表現力の育成
- <重点教科等>
全教科・領域
- <特色ある学校づくりへの取組>
- (1) キャッチフレーズ
大きな夢・明るいあいさつ・美しい心・きれいな学校
- (2) 取組内容
- 思考力・判断力・表現力の向上を目指す。【学力】
 - ・自ら考え、判断し、表現する機会を設定
 - ・朝の基礎学習の取り組みと検証
 - 豊かな心、美しい心の育成を目指す。【規律ある態度】
 - ・学習規律、ルールの確認
 - ・道徳的实践力の向上
 - 心身が健康で、たくましい生徒の育成を目指す。【健康・体力】
 - ・新体力テストの結果を基にした目標の設定
 - ・健康集会、保健だよりによる啓発
 - 小学校や保護者、地域と一体となった活動を推進する。【家庭・地域との交流、小中連携】
 - ・ペアスクールを生かした小中の連携
- (3) 成果
明るく元気な挨拶や返事ができ、家庭学習が定着して学力の向上が図られている。

青柳中学校

創立年月日 昭和56年4月1日
学級数 16 学級 校長 藤谷 和史
生徒数 483 人 教頭 佐久間 郁男



- <教育目標> 自ら考え実践する生徒(知)
心豊かで思いやりのある生徒(徳)
健康でたくましい生徒(体)
- <研究主題>
不登校解消に向けた学力向上と幼保小中連携の取組の研究
- <重点教科等>
全教科・領域、教育相談・生徒指導
- <特色ある学校づくりへの取組>
- (1) キャッチフレーズ
「生徒が輝き、教師が輝き、自ら誇れる青柳中」
育もう青中4つの心！
「あ 明るい心 お 思いやりの心
や やり抜く心 ぎ 正義の心」
青柳4つの誇り！「挨拶 歌声 集会 部活動」
- (2) 取組内容
基本的生活習慣や行動様式の定着
(凡事徹底、無言集会、積極的な生徒指導)
確かな学力の核となる、基礎・基本の確実な定着
(朝読書、家庭学習ノート、研究授業の実施)
元気あふれる生徒、活気ある教職員
(教職員・生徒会・部活動による朝のあいさつ運動)
生涯を通じた健康・体力づくりの推進
(授業や部活動での体力向上、食育・健康教育)
互いに尊重し合い、いじめのない学校
(人権教育、特別支援教育の推進)
- (3) 成果
学習規律を大切にした授業実践により基礎・基本の定着
あいさつ・礼儀を身に付けた良好な人間関係の定着
意欲的な部活動をととした健康な心身の育成

松江中学校

創立年月日 昭和60年4月1日
学級数 16 学級 校長 森 真一
生徒数 487 人 教頭 井上 聡



- <教育目標> ま：学ぶ意欲のある生徒 <かしこく>
つ：強い心と体をもつ生徒 <たくましく>
え：笑顔あふれる生徒 <あたたかく>
- <研究主題>
生きる力を育む言語活動
- <重点教科等>
全教科
- <特色ある学校づくりへの取組>
- (1) キャッチフレーズ 「笑顔あふれる松江中」
- (2) 取組内容
思考力・判断力・表現力を育む言語活動の工夫
確かな学力を身に付ける基礎・基本の徹底
家庭との連携による学習習慣の確立
毎日の朝読書で落ち着いた朝のスタート
生徒会が中心となつての「あいさつ運動」の展開
心に潤いを与える掲示環境づくり
花壇の整備、野菜の栽培等で豊かな心の育成
社会体験事業による地域事業所との連携
授業及び学校行事を地域・保護者への公開
小中の連携による学びの連続性
松江中フェスティバルの実施
- (3) 成果
朝の授業前に静けさと潤いが醸成されている。
人と人とのあたたかい人間関係が育まれている。
意欲的に学習に取り組む生徒が増えている。
生徒の心を潤す掲示が増えている。

生涯學習

地域に根ざした生涯学習活動の推進

1 生涯学習推進体制の整備充実

(1) 生涯学習施設の整備

市内公民館・文化センター及び栄小学校一般開放について、施設の適正な管理・維持を図るとともに、事業の充実に努めます。

(2) 草加市社会教育委員

社会教育の助言機関として、生涯学習に関する計画の立案、施策等に対する意見具申により、草加市にふさわしい生涯学習社会の構築を図ります。

(3) 生涯学習情報提供サイトの運用

学習情報の収集・提供、指導者やサークルの活動紹介及び学習相談などの機能を持ち、市全域にわたる生涯学習情報を検索できるインターネット上のサイトを運用し、市民の活用を進めます。

(4) 草加市生涯学習市民推進会議

本市の生涯学習の総合的な推進を図る市民主体の組織として、生涯学習の普及奨励のための企画立案や実践活動を行っています。主な取組は、次のとおりです。

- ・市民への生涯学習情報発信のため、生涯学習情報紙「マイ・ステージ」を発行します。
- ・生涯学習指導者バンクに登録している指導者の活用及び学習を希望する市民への情報提供に努め、充実を図ります。
- ・生涯学習情報提供サイトのより良い運用について検討します。

指導者バンク

年度	登録者数	活用者数
H24	98 人	55 人
H25	99 人	17 人
H26	96 人	32 人

(5) 平成塾の管理運営

地域の高年者の触れ合いや生きがい、共同学習の場として、また、地域の子どもたちとの世代間交流の場として、平成塾の活動を支援します。

(6) 社会教育関係団体の育成

社会教育に関することを主な目的として活動する社会教育関係団体の登録や活動支援を行います。

社会教育関係団体

年度	登録団体数
H24	458 団体
H25	443 団体
H26	452 団体

(7) 新成人のつどいの開催

社会を担う成人としての自覚と自立を促すとともに、生涯にわたる学習活動を進める機会として、新成人のつどいを開催します。

2 生涯学習活動の充実

(1) そうか市民大学の充実

「人をつくる・人と出会う・まちをつくる」を建学の理念とし、市民との協働による生涯学習社会の構築のため、市民大学推進委員会とともに講座の企画・運営を行います。

開学１１年目を迎える本年度は、前期・後期講座、特別公開講座を開講します。

(2) 獨協大学オープンカレッジへの支援

獨協大学オープンカレッジの講座を支援します。

(3) 上野学園大学短期大学部への支援

上野学園大学短期大学部の公開講座を支援します。

文化遺産の保存と活用

(1) 文化財の保存・継承

貴重な文化遺産を郷土の文化財として保存・継承するために、指定文化財のパトロール及び埋蔵文化財包蔵地の管理を行います。

(2) 文化財保護審議会

文化財保護審議会は、教育委員会の諮問に応じて文化財の保存及び活用に関して審議するとともに、必要と認める事項を建議します。

(3) 国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」の保存・活用

名勝「草加松原」の価値を広め、末永く維持・管理が図られるよう体制整備に努めます。

(4) 歴史講座

市民を対象に、草加の歴史に関する様々なテーマで講座を開催します。

年 度	テ ー マ
H24	草加にゆかりのある文芸家の文学碑（豊田三郎）、句碑（正岡子規）など見学 芭蕉記念館・深川江戸資料館(ともに江東区)など見学
H25	今市宿・杉並木・裏見の滝等（全て日光市）見学
H26	日光市「ガンマンガ淵を訪ねて」として、同市内の浄光寺、化け地蔵、憾満ヶ淵、松尾芭蕉句碑その他を見学

生涯学習施設の紹介

○公民館

〔中央公民館〕

開館年月：昭和41年7月（昭和56年10月移転）

所在地：草加市住吉二丁目9番1号

電話番号：922-5344

FAX番号：922-0152

構造・面積：鉄筋コンクリート造3階建

延床面積 4,497.91m²

敷地面積 5,342.1m²

平成27年度主要事業：小学生の職場訪問、伝統文化教室、にじいろタイム、スポーツ吹矢体験講座、SKT24高年者健康エクササイズ、さわやかシニア大学、青少年コンサート、第43回中央公民館まつり、第24回美術展、ギャラリーミニアラカルト ほか

・施設内容

（単位：人）

施設名	収容人数	施設名	収容人数
ホール	415	第2体育室	84
第1会議室	46	視聴覚室	60
第2会議室	24	美術工芸室	20
第3会議室	26	第1講座室	54
クラブ室	18	第2講座室	37
調理室	40	図書室	-
和室研修室	35	ギャラリー	-
第1体育室	167		

〔柿木公民館〕

開館年月：昭和44年5月（平成14年9月移転）

所在地：草加市柿木町1263番地

電話番号：931-3117

FAX番号：933-2501

構造・面積：鉄筋コンクリート造2階建

延床面積 970.27m²

敷地面積 1,976.28m²

平成27年度主要事業：第8回柿木郷土まつり

（第47回柿木公民館まつり）、自然観察教室、第14回柿木親子クリスマス会、柿木子ども新聞発行、親子で元気ルーム、高年者の元気ルーム、趣味の講座、粋男クラブ（イキメンクラブ）、SKT24柿木ラジオ体操 ほか

・施設内容

（単位：人）

施設名	収容人数	施設名	収容人数
ホール	130	和室会議室	20
調理実習室	20	会議室	30
実習室	24	図書室・学習室	16席

〔谷塚文化センター〕

開館年月：昭和52年1月（平成19年4月移転）

所在地：草加市谷塚仲町440番地

電話番号：928-6271

FAX番号：928-6272

構造・面積：鉄筋コンクリート造4階建

延床面積 2,330m²

敷地面積 18,756m²

（敷地面積は、谷塚小学校、谷塚児童クラブを含む）

平成27年度主要事業：小学生との世代間交流、子ども自然・科学教室、高年者学級、すくすくクラブ、第37回谷塚文化センターまつり、第13回地域音楽のつどい、綾瀬川コーラス教育、谷塚少年少女合唱教室、ロビーコンサート ほか

・施設内容

（単位：人）

施設名	収容人数	施設名	収容人数
相談室	20	第1楽屋	12
第1学習室	60	第2楽屋	6
第2学習室	50	中会議室	30
実習室	45	小会議室	20
第1和室	35	家庭科室	45
第2和室	25	図書室	-
ホール	300	託児室	-

（家庭科室、図書室は小学校との共用施設）

〔川柳文化センター〕
 開館年月：昭和55年4月
 所在地：草加市青柳六丁目45番17号
 電話番号：936-4088
 FAX番号：930-1509
 構造・面積：鉄筋コンクリート造3階建
 延床面積 1,359.23m²
 敷地面積 3,301m²

・施設内容 (単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
体育室	200	和室研修室	30
クラブ室	20	調理室	30
視聴覚室	30	図書室 学習室	15
会議室	50		
実習室	30	託児室	15

平成27年度主要事業：夏休み子ども教室、公民館ボランティア講座、高年者のたまり場
 「ひびき」、第36回川柳文化センターまつり ほか

〔新田西文化センター〕
 開館年月：平成22年4月
 所在地：草加市清門三丁目49番地1
 電話番号：942-0778
 FAX番号：946-1508
 構造・面積：鉄骨造2階建
 延床面積 1225.48m²
 敷地面積 2136.79m²

・施設内容 (単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
ホール	200	和室	20
第1会議室	24	調理室	24
第2会議室	36	図書コーナー	-
第3会議室	54	託児室	-
実習室	24	準備室	-

平成27年度主要事業：子どもサマーランド、放課後クラブ、家庭教育学級、高年者学級
 「笑いのつどい」、SKT24地域はつらつ元気体操教室、第3回伝統芸能発表会、第6回
 新田西文化センターまつり ほか

〔新里文化センター〕
 開館年月：平成26年4月
 所在地：草加市新里町983番地
 電話番号：927-3362
 FAX番号：920-1504
 構造・面積：鉄骨造2階建
 延床面積 1373.48m²
 敷地面積 2373.38m²

・施設内容 (単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
ホール	193	和室	24
第1会議室	24	調理室	30
第2会議室	45	図書コーナー	-
第3会議室	40	託児室	-
実習室	24	準備室	-

平成27年度主要事業：子どもクラブ、子ども環境学習教室、伝統文化教室、すくすくクラブ、スポーツ吹矢体験講座、高年者学級、いきいき楽集クラブ、SKT24地域はつらつ元気体操教室、第2回新里文化センターまつり ほか

○歴史民俗資料館

開館年月：昭和58年11月
 所在地：草加市住吉一丁目11番29号
 電話番号：922-0402
 FAX番号：922-0402
 構造・面積：鉄筋コンクリート造2階建
 延床面積 696m²
 敷地面積 766.18m²

・来館者の推移

年度	来館者数
H22	13,624人
H23	15,707人
H24	15,497人
H25	14,352人
H26	16,238人

郷土の歴史資料や民俗資料などを収集・保管・展示することにより、教育・学術・文化の発展に寄与することを目的とし、昭和58年11月に開館しました。

建物は、大正15年に県下初の鉄筋コンクリート造校舎として建設された草加小学校西校舎を改修したものです。耐震・耐火に優れ、また、屋上にドッジボールなどをして遊べるスペースが設けられるなど、建設当時としては大変近代的な建造物でした。平成20年10月には、「造形の模範になっている」建造物であることが認められ、国の登録有形文化財に登録されました。

このことを受け、歴史民俗資料館の文化財としての更なる活用と施設の管理運営の充実を図るため、平成21年度からは平成18年度から導入していた指定管理者制度を廃止し、管理運営を草加市教育委員会の直営としています。

当館では、2,631点(平成26年度末)余りの資料を収蔵しています。平成25年4月16日には来館者20万人を達成し、平成26年度末(平成27年3月31日)には、合計230,030人の来館者となりました。

草 加 市 立 中 央 図 書 館

開館年月：平成12年4月1日

所在地：草加市松原一丁目1番9号

電話番号：946-3000

FAX番号：944-3800

構造・面積：鉄骨・鉄筋コンクリート造地上5階建

専有面積 4,803.54 m²

<平成27年度 図書館運営方針>

市民の知的要求に応え、利用者が必要とする情報提供の場として、多様できめ細かなサービスを提供します。

また、公民館図書室、小学校サービスコーナー及び地域開放型図書室の充実及び効果的な運営を推進します。

特に、平成27年度の図書館運営にあたっては、開館15周年に当たる本年度を次への飛躍となる節目の年にとらえ、これまでの実績を基礎に、将来を見据えた図書館運営を推進してまいります。

これを踏まえ、平成27年度の「図書館情報提供サービス・管理運営事業」としては、次のことを重点に各種事業を展開してまいります。

図書館情報提供サービス面では、高度情報化社会に対応した図書館電算システムを使用し、利便性向上を図るとともに、インターネットを活用した各種情報の提供を積極的に行います。また、生涯学習実践の場、学習成果発表の場として、多目的ホールの利用拡大を図ります。

管理運営面では、施設・設備が建設・整備から長年経過している中で、利用者の安全安心を第一に防災設備の改修に努めます。特に、消防設備については、3か年計画の初年度として修繕に着手します。また、閲覧席用椅子を順次更新し、閲覧環境の向上に努めてまいります。

- 1 社会情勢の様々な変化に伴って多様化・高度化する利用者ニーズに応えるため、資料の整備・充実に努めます。
- 2 調査研究から身近な疑問まで、市民の問題解決を支援するため、レファレンスサービス（参考調査）の充実に努めます。
- 3 障がいに伴い、自身では図書館を利用することに不便を感じる方に対しても、読書支援活動を推進します。
- 4 子どもの読書活動推進のため、児童サービスの充実を図ります。
- 5 地域開放型図書室では地域分館的機能の強化を図るための検討を行うとともに、学校及び大学との連携を推進します。
- 6 図書館利用の促進及び読書活動の推進のため、文化事業を実施します。
- 7 快適な読書環境を提供するため、図書館施設・設備の的確な管理運営に努めます。

< 平成 26 年度利用状況 >

1 入館者数・登録者数

（単位：人）

開館日数	入館者数			登録者数			
	一般室	児童室	合計	一般	学生	児童	合計
299	479,815	83,859	563,674	132,957	26,405	15,114	174,476

2 貸出冊数

（単位：冊・点）

中央図書館					公民館・文化センター	地域開放型図書室	サービスコーナー	合計
一般書	児童書	雑誌	A V 資料	計				
641,474	193,901	27,262	50,744	913,381	107,416	14,930	160,792	1,196,519

3 蔵書場所別・資料種別蔵書冊

（単位：冊・点）

	一般書	児童書	図書計	雑誌計	C D	カセット	ビデオ	D V D	A V 計	総合計
中央図書館	387,786	83,416	471,202	15,068	9,149	205	1,380	1,590	12,324	498,594
公民館・文化センター	18,733	20,687	39,420	165	0	0	0	0	0	39,585
サービスコーナー	13,189	62,517	75,706	0	0	0	0	0	0	75,706
合 計	419,708	166,620	586,328	15,233	9,149	205	1,380	1,590	12,324	613,885

人 權 教 育

人 権 教 育

1 学校教育における人権教育

(1) 教育活動全体をととしての人権教育の取組

人権意識の高揚を図り、人権についての正しい理解を深め、同和問題をはじめとする様々な人権問題を解決しようとする児童生徒の育成を図っています。

人権教育の着実な実践を図るために、児童生徒及び地域の実態を把握し、同和問題をはじめとする様々な人権問題を解決するための具体的な目標を設定し、人権教育全体計画を作成し、実践しています。

児童生徒の発達段階を踏まえ、各教科はもとより道徳、特別活動、総合的な学習の時間等の年間指導計画に人権教育を位置付け、実践しています。

豊かな人権感覚を身に付け、主体的に行動できる児童生徒を育てるため、全教職員の共通理解を図り、教育活動全体をととして一人ひとりを大切にする授業の在り方についての研究を推進しています。

いじめや仲間はずれの無い、お互いに協力し合う明るい学級づくりに努めています。

(2) 人権を尊重する教育の徹底と啓発活動の取組

草加市人権教育推進協議会と協力し、啓発活動を推進しています。

人権教育主任研修会

人権教育授業研究会

初任者教員人権教育研修会

3年次教員人権教育研修会

学校管理職人権教育研修会

人権教育校内研修会

人権を考える市民のつどい

草加市人権文集「なかま」の発行

草加市人権標語ポスターの作成

現地研修会の開催

2 社会教育における人権教育

社会教育の各分野において、同和問題をはじめとする様々な人権課題に対して、総合的かつ計画的な人権教育・啓発を推進し、市民一人ひとりが人権尊重の理念に対する理解を深め、全ての人が相互に存在を認め合い、尊重し合う平和な社会の実現を目指しています。

(1) 公民館での人権教育講座の開催

市内6か所の公民館・文化センターで人権教育講座や講演会等を行い、様々な人権問題に対して理解を深めていけるような学習プログラムを設け、市民が学習できる場を提供しています。学習方法についても、人権啓発ビデオの視聴を取り入れるなどの工夫をしています。

(2) 人権教育講演会の開催

講演会・研修会等を開催し、また、他団体・機関等と共催することで幅広く人権教育の推進を図っていくよう努めています。

連合婦人会人権教育講演会

人権を考える市民のつどい

企業内人権・同和問題研修会 ほか

(3) 吉町集会所事業

吉町集会所は、同和問題をはじめとする社会人権教育を推進し、市民の会議、集会等に供するために設置されており、施設運営については、地域の関係団体・機関から選出された運営委員会を中心に行います。

子ども教室、女性教室、成人教室の開催

各教室において人権学習会を取り入れることにより、人権意識の高揚が図れるよう努めています。

吉町集会所まつりの開催

吉町集会所利用団体による成果発表、人権教育講演等を行い、人権問題に対する理解をより深めながら利用者同士の交流を図ることで、平和で住みよい社会が形成できるように努めています。

吉 町 集 会 所

開 館 年 月：昭和58年4月

所 在 地：草加市吉町三丁目9番24号

構造・面積：鉄筋造2階建 延床面積 281.51 m² 敷地面積 578.63 m²

資料編

草 加 の 教 育 の 沿 革

年度	月日	主 な こ と が ら
昭和 6 1	4 月 1 日 6 月 7 日 8 月 1 0 月 1 日 2 月 2 0 日	指導課と青少年課を統合し、指導・青少年課に改編 奥日光自然の家を開設 川柳小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 (財)草加市体育協会が設立 遊馬町個人所蔵の文明十七年弥陀一尊図像月待板碑を市指定文化財に指定
6 2	7 月 3 1 日 8 月 1 日 8 月 2 5 日	青少年健全育成市民会議が発足 語学指導助手を初めて採用 高砂小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱北勝海関が参加
6 3	8 月 2 1 日 8 月 2 2 日 1 0 月 1 5 日 1 1 月 1 日 1 1 月 5 日 1 1 月 1 3 日	新栄中学校第 18 回全国中学校バスケットボール大会で優勝 花栗中学校第 18 回全日本中学校バレーボール選手権大会で優勝 草加市民管弦楽団が発足 新草加市民憲章・草加市歌を制定 第 1 回奥の細道国際シンポジウムを開催 中日友好バレーボール親善試合を開催
平成 元	7 月 7 日 8 月 2 1 日 1 1 月 2 4 日	草加平成塾を開塾 長栄小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱旭富士関が参加 第 1 回国際ハープ・フェスティバルを開催
2	7 月 2 日 8 月 2 5 日	栄平成塾を開塾 高砂小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱千代の富士関が参加
3	4 月 1 日 8 月 2 4 日 7 月 1 8 日	社会教育課を生涯学習課と改称 清門小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 新田平成塾を開塾
4	8 月 2 9 日 9 月 ~ 9 月 2 4 日	西町小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱曙関が参加 学校週 5 日制（月 1 回）を実施 両新田平成塾を開塾
5	6 月 2 2 日 1 0 月 1 8 日	音楽都市を宣言 八幡北平成塾を開塾
6	8 月 2 3 日 1 1 月 7 日	小山小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 新栄平成塾を開塾
7	4 月 ~ 8 月 2 2 日 1 1 月 3 0 日	学校週 5 日制（月 2 回）を実施 稲荷小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱武蔵丸関が参加 瀬崎平成塾を開塾
8	8 月 2 4 日 1 1 月 2 6 日	草加中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 小山平成塾を開塾
9	8 月 2 0 日 1 0 月 3 1 日	草加中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 氷川平成塾を開塾
1 0	8 月 2 2 日 1 1 月 1 日 1 0 月 2 8 日 3 月 1 日 3 月 1 9 日	草加中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 清門平成塾を開塾 札幌河岸公園内の甚左衛門堰を市指定文化財に指定 青柳平成塾を開塾 市指定文化財の甚左衛門堰が県指定文化財に指定
1 1	4 月 1 日 8 月 1 1 月 5 日	特色ある学校づくり推進事業を開始 草加中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 長栄平成塾を開塾
1 2	4 月 1 日 8 月 2 0 日 1 1 月 1 5 日 2 月 2 6 日	草加市立中央図書館が開館 草加中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 新里平成塾を開塾 教育相談室が氷川町から松江一丁目（現在地）に移転

年度	月日	主 な こ と が ら
1 3	4 月 9 日 8 月 2 6 日	草加市立中央図書館来館者 1 0 0 万人を達成 記念体育館で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱武蔵丸関が参加
1 4	4 月 1 日 4 月 1 日 4 月 1 日 4 月 1 日 4 月 1 日 4 月 1 日 4 月 1 日 5 月 8 日 8 月 7 日 8 月 9 月 1 日	指導・青少年課を、指導課及び青少年課に改編 学校週 5 日制が完全実施 勤労青少年ホームを教育委員会所管に改編 子ども週末活動支援モデル事業を開始 学校教育部、生涯学習部を新設。併せて、青少年課を新設 新学習指導要領が全面实施 学校評議員制度市内全小中学校で開始 八幡平成塾を開塾 安陽市と国際教育交流協議書を締結 草加中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 柿木公民館が新築移転、業務を開始
1 5	4 月 2 6 日 4 月 8 月 1 9 日 9 月 1 日 9 月 1 7 日	冒険松原あそび場（プレーパーク）を開設 西町小学校新校舎で授業を開始 記念体育館で夏休みちびっ子相撲大会を開催 草加市学校安全の日（学校安全週間）を制定 全小学校に中央図書館サービスコーナーを開設
1 6	4 月 7 月 1 0 日 8 月 1 日 8 月 2 4 日 9 月 1 日 ~ 1 0 月 2 9 日 1 0 月 1 日 1 0 月 6 日 1 0 月 2 4 日 ~ 1 0 月 2 7 日 3 月 3 月 2 1 日	川柳小学校新校舎で授業を開始 柳島スポーツ広場の開放を開始 埼玉県東南部地域公共施設・生涯学習講座予約システム（まんまる予約）の運用を開始 谷塚中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 東地総田遺跡第二次発掘調査を実施 草加未来人サポート審議会が発足 全小中学校でアルミ缶の回収を開始 記念体育館で「まごころ国体 - 相撲競技」を開催 草加市生涯スポーツ振興計画を策定 冒険松原あそび場（プレーパーク）のプレーリーダーハウス完成
1 7	4 月 6 月 1 2 日 7 月 8 月 2 7 日 9 月 9 月 1 日 9 月 3 日 9 月 2 9 日 1 0 月 2 8 日 1 1 月 1 1 月 1 3 日 1 2 月 1 日	教育に関する 3 つの達成目標を踏まえ「草加っ子の基礎基本」を策定、実践開始 奥日光自然の家開設 2 0 周年式典を挙行 全校学力調査を実施 谷塚中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 公共施設及び学校給食調理業務機器等アスベスト調査を実施、撤去等安全対策に着手 全校校地内全面禁煙を実施 そうか市民大学を開校 草加一丁目北草加観音堂境内の正保二年草賀町銘板碑型線刻虚空蔵菩薩立像供養塔を市指定文化財に指定 草加中学校の体育館・給食棟が竣工 不審者による児童生徒被害の多発を踏まえ、安全安心の学校づくりに着手 綾瀬川出土の丸木舟の保存処理が完了し、歴史民俗資料館で展示を再開 獨協大学との連携により、同大学附属図書館の市民開放を開始

年度	月日	主 な こ と が ら
18	4月 4月 4月 4月 7月～ 7月26日 8月～ 8月27日 1月22日 3月15日	中学校学校選択制を導入 学校給食調理業務委託を中学校2校において実施 小学校22校区内にスクール・パトロールステーションを設置 草加中学校体育館の一般開放を開始 算数・数学学力向上プロジェクト「寺小屋事業」の開設 綾瀬川出土の丸木舟を市指定文化財に指定 草加宿開宿着手400年記念事業の実施（夏期巡回ラジオ体操、なんでも鑑定団in草加、絵画展、俳句展等） 川柳小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 いじめ相談「草加っ子元気カード」を小中学校生に配付 谷塚小学校・谷塚文化センター完成竣工式を挙行
19	4月1日 4月9日 4月24日 4月 4月 4月 8月 8月28日 9月 10月1日 3月	草加市教育相談室を草加市教育支援室に改称 谷塚小学校新校舎で授業を開始・谷塚文化センター新庁舎で業務を開始 全国学力学習状況調査を実施 学校給食調理業務委託を新たに中学校2校で実施 AED（自動体外式除細動器）を全小中学校の保健室に設置 市内6小学校区で放課後子ども教室を開設 奥日光自然の家の施設周辺に、野生動物対策のため電気柵を設置 谷塚中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 草加市立北谷小学校・花栗小学校の統合に向けた統合協議会を設置 青少年の居場所として青少年交流センターを開設 財務に関する事務の適正な執行のため、業務改善検討委員会の設置
20	4月1日 4月1日 6月 8月20日 9月 10月23日 12月 3月 3月	学校教育部と生涯学習部を統合し、教育総務部を新設。併せて、学校教育課、学校施設・給食課を新設、体育課を市長部局に移管 業務改善検討委員会の意向を受け、教育委員会内部統制チームを新設 小中学校の耐震化計画を見直し、平成25年度100%実施に向けた計画を策定 市制50周年記念事業「子ども議会」を開催 「草加っ子土曜寺小屋」の新設 歴史民俗資料館が草加市初の国の登録有形文化財に登録 教育委員会事務及び評価報告書を市議会12月定例会に提出 松原小学校の開校に伴い、北谷小学校及び花栗小学校が閉校 教育委員会発足50周年記念誌「草加の教育 50年の歩み」を発行
21	4月 4月 4月16日 7月 7月 8月 9月6日 10月 11月12日 3月 3月31日	松原小学校が旧花栗小学校で開校 高砂小学校新校舎で授業を開始 市内小中学校の耐震診断結果を公表 新型インフルエンザが猛威を振るい、7月下旬から3月上旬までに小学生5,490人、中学生1,959人が罹患 瀬崎冒険あそび場（プレーパーク）を開設 新田小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 高砂小学校で地域開放型図書館を開設 高砂小学校が、草加市と都市山村交流（平成22年7月に姉妹都市締結）の福島県昭和村への修学旅行を実施。以来、平成22、24、25、26年度にも実施 新型インフルエンザの影響で、小中学校なわとび大会及び学校対抗相撲大会が中止 国の経済危機対策等の補助金を活用して、小学校に校務用及び教育用コンピュータを整備 新田西文化センターの完成に伴い、新田西公民館が閉館

年度	月日	主 な こ と が ら
22	4月 1日 8月 28日 11月 11月 11日 3月 3月 11日	新田西文化センターが開館 高砂小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱白鵬関が参加 草加市文化財保護基本計画を策定 草加市立中央図書館開館10周年記念として、「中央図書館文化講演会」を開催 松原小学校新校舎が完成 午後2時46分、東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）発生 児童・生徒の一斉下校対応・引き取り対応を実施 各小中学校、公民館・文化センターに避難所を開設 食材供給が十分でない中、市内小学校においては、震災後も給食調理業務を継続して実施
23	4月 8日 6月 8日 8月 28日 9月 11月～ 12月 26日 2月 3月	松原小学校新校舎で授業を開始 学校における放射線量等の測定を開始 松原小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 旧松原小学校（旧花栗小学校）において、県東部地域特別支援学校（仮称）設置工事に着手 子ども達が日常的に過ごす施設や場所を優先的に放射線量の詳細測定と除染を実施 住吉二丁目所在の明治天皇草加行在所記念碑を市指定文化財に指定 草加市立中央図書館開館10周年記念誌を発行 草加市教育振興基本計画を策定
24	4月 1日 4月 1日 6月 1日 8月 8月 20・21日 8月 25日 9月 3月	学校教育課及び学校施設・給食課を、学務課、指導課及び施設課に改編、子ども教育連携推進室を新設 学校適応指導教室「ふれあい教室分室」を川柳文化センター・谷塚文化センター内に開設（平成25年3月31日閉室） 草加市立中央図書館で雑誌広告事業を開始 「いじめ防止」のためのリーフレットを作成 栄中学校全国中学校体育大会の体操競技団体で3位入賞 高砂小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱白鵬関が参加、主催の草加市青少年相撲振興会創立30周年を記念し、土俵入りを披露 栄小学校校舎改築工事に着手 草加市子ども教育連携推進基本方針・行動計画を策定
25	4月 1日 6月～ 6月 21日 8月 28日 8月 30日 11月 1日 12月 1月 24日 2月 3月 3月 18日 3月 31日	埼玉県立草加かがやき特別支援学校開校 草加寺子屋（土曜学習）を市内公共施設4会場に加え、市内小学校全校で開催 藤城家住宅店舗・内蔵・外蔵が国の登録有形文化財に登録 「いじめ撲滅サミット」を開催 谷塚小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 草加市立中央図書館に「ドナルド・キーンコーナー」を開設 栄小学校新校舎が完成 瀬崎の富士行及び富士塚を市指定文化財に指定 「草加市幼保小接続期モデルプログラム」「草加市小中連携モデルプログラム」「目指す『草加っ子』（草加市幼保小中教育モデル指針）」を策定 「草加市学校におけるいじめの防止等のための基本的な方針」策定 草加松原が「おくのほそ道の風景地」の一群をなすものとして、国指定名勝に指定 新里文化センターの完成に伴い、谷塚西公民館が閉館

26	4月 1日	新里文化センターが開館
	4月 8日	栄小学校新校舎で授業を開始
	5月24日	草加市文化会館で名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」指定記念式典を開催
	7月～	市内小中学校の普通教室及び音楽室へのエアコン設置が完了し、稼働開始
	7月	青柳小学校・小山小学校が、試行として姉妹都市の福島県昭和村への自然教室を実施
	8月30日	小山小学校で市民体育祭夏休みちびっ子相撲を開催
	3月 7日	草加松原遊歩道内にドナルド・キーン氏揮毫による国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」の標識（記念碑）を建立。同日、除幕式典を開催

草加市の指定文化財

(平成 27 年 4 月 1 日現在)

指定	名 称	員数	概 要	所 在 地	指定年月日
市	富士浅間神社本殿 (建造物)	1 棟	間口 2.32m、奥行 3.60mの一間社流造(いっけんしやながれづくり)。随所に豊富な彫刻を配した天保年間の建物で、宮彫(みやぼり)彫刻の技法が優れている。	瀬崎 3-3-24 富士浅間神社	昭和 51 年 11 月 15 日
市	六角宝幢形経筒 (工芸品)	1 口	筒身及びその台。筒身は 6 枚の長方形の銅板(縦約 9.5 cm、幅約 2.5 cm)に分かれている。六角宝幢(ほうどう)形は全国的にも珍しく、学術上貴重なものである。	柿木町地内	昭和 51 年 11 月 15 日
市	東漸院山門 (建造物)	1 棟	本堂の表門で型式は四脚門。規模は表柱間 3.16m、妻 3.58m。この山門は江戸中期以降の建物であるが、彫刻に迫力があり、また、よくまとまった四脚門の好例である。	柿木町 1286 東漸院	昭和 52 年 8 月 8 日
市	宝積寺木造千体地藏 (彫刻)	1000 体	勝軍地藏、両脇侍地藏、小地藏。江戸後期の造立と思われるが今日まで、完備した姿で伝えられているのは珍しく、貴重な存在である。	金明町 371 宝積寺	昭和 52 年 8 月 8 日
市	泉蔵院十三仏石像 (歴史資料)	13 体	十三仏像が個々の形体で、それぞれ独立の立像として彫刻、配列されているのは他に類がなく、貴重である。享保 6 年(1721)造立の銘あり。	新里町 313 泉蔵院	昭和 52 年 8 月 8 日
市	泉蔵院六地藏石仏 (歴史資料)	6 体	六道別各尊名を刻した六地藏石仏とその供養塔。元禄 4 年(1691)の造立。六地藏としての体系を具えたもので、創立当初からの姿態をよく保存している。	新里町 313 泉蔵院	昭和 52 年 8 月 8 日
市	関根家所蔵歴史資料 (歴史資料)	40 点	近世及び明治初年の篠葉村関係の文書。検地帳、村絵図、持高帳、その他。保存がよく、草加周辺の雰囲気をよく伝えている。また、草加宿の資料が明治の大火で大半を失っている中で、重要な史実が見出せる可能性のある資料群である。	弁天 5 丁目地内	昭和 52 年 8 月 8 日
市	野島家所蔵歴史資料 (歴史資料)	77 点	草加宿村の近世史を解明する上で大変重要であり、市史研究にとって基礎的な資料群である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 54 年 2 月 20 日
市	旭神社算額 (歴史資料)	1 面	この算額は、県下でも古い方であり市唯一の算額である。奉納者の系統も明らかであり(宮城流)、珍しい貴重な文化遺産であるが、近年文字の退色が進行し、読み取ることが困難となっている。現在は、算額のレプリカが歴史民俗資料館にて展示されている。	金明町 1333 旭神社	昭和 54 年 2 月 20 日
市	東福寺鐘楼 (建造物)	1 棟	江戸末期の、よくまとまった寺院建築物である。	神明 1-3-43 東福寺	昭和 55 年 3 月 22 日
市	十三仏板碑 (歴史資料)	1 基	板碑(いたび)は中世の地域社会を理解する上で、かけがえのない資料である。十三仏は市内唯一のものである。	神明 1-3-43 東福寺	昭和 55 年 3 月 22 日
市	長堀家所蔵歴史資料 (歴史資料)	48 点	江戸時代の旧新里村における旧体制から近代化への夜明けと苦悩が浮彫りにされる、重要な資料群である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 55 年 3 月 22 日

<お知らせとお願い>

- ・掲載している文化財には、非公開のものもあります。必ず所有者の許可を得てから見学するようにしてください。
- ・文化財を火災から守るため、文化財周辺での喫煙はご遠慮ください。
- ・文化財を傷つけたり、周囲を汚したりしないでください。
- ・一部の指定文化財は事情により掲載していません。

指定	名 称	員数	概 要	所 在 地	指定年月日
市	題目板碑 (歴史資料)	1 基	碑の中央に「南無妙法蓮華經」の題目が彫られており、右に北朝年号の至徳 3 年(1386)の年号が彫ってある。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 55 年 3 月 22 日
市	寛永十三年山王二十一仏庚申塔 (歴史資料)	1 基	板碑型で寛永 13 年(1636)丙子(ひのえね)の紀年銘を持つ。草加市域はもとより隣接市区で、最も古い貴重な中世資料である。	稲荷 4-3-23 慈尊院	昭和 56 年 1 月 31 日
市	寛文二年地蔵(庚申)立像 (歴史資料)	1 基	高さ 95cm の丸彫り型であり、寛文 2 年(1662)と、市域では最も古い、貴重な近世資料といえる。	弁天 6-7-24 観正院	昭和 56 年 1 月 31 日
市	延宝六年地蔵(庚申)立像 (歴史資料)	1 基	高さ 142cm の光背型立像である。延宝 6 年(1678)と、市域で 2 番目に古く像容が優れている点が注目に値する。	弁天 6-7-24 観正院	昭和 56 年 1 月 31 日
市	万治二年板碑型六地藏 (歴史資料)	1 基	万治 2 年(1659)の造立は市域で最も古く、板碑型の碑面に六体を収めた例は他にはない。	柿木町 1286 東漸院	昭和 56 年 1 月 31 日
市	万治二年板碑型地藏立像 (歴史資料)	1 基	万治 2 年(1659)と、市域では最も早く造立され、その後の地藏像が丸彫りか光背型であるのに対して、他に例のない板碑型である。	柿木町 565 正福寺跡	昭和 56 年 1 月 31 日
市	八幡神社獅子頭 (工芸品)	雌雄一対	高さ 83cm の大型の獅子頭で、江戸末期の平面的な技法によって構成されているため、その時期に作成されたものと思われる。	高砂 2-20 八幡神社	昭和 56 年 1 月 31 日
市	東福寺本堂内外障境彫刻欄間 (彫刻)	1 面	この欄間は職人芸で、経費・期間に制約がある中で、また、文献を参考に描くということの不可能な時代の所産にもかかわらず、技法がこまやかであり、構図・刀痕ともに、この地方の逸品である。	神明 1-3-43 東福寺	昭和 57 年 2 月 22 日
市	東福寺山門 (建造物)	1 棟	この山門は、江戸時代木割(きわり)書によって造営され、細部は工匠の熟練した技術によって処理されている。また冠木(かぶき)上の彫刻も見事であり、彫工の非凡な刀痕がみられる。	神明 1-3-43 東福寺	昭和 57 年 2 月 22 日
市	吉岡家所蔵歴史資料 (歴史資料)	1540 点	幕末から明治にかけての金融関係の動向や明治中後期の東京との交換売買のありさま等、郷土史研究にとって貴重な資料群である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 57 年 2 月 22 日
市	新井家所蔵歴史資料 (歴史資料)	一括	この資料は草加市史上の重要人物の一人である新井孫助(あらいまごすけ)に関する貴重な資料だけでなく、近世と近代の草加の豪農、豪商層の成り立ちと在り方、当時の村落状況を伝える貴重な資料群である。	花栗 3 丁目地内	昭和 58 年 2 月 22 日
市	藤波家所蔵歴史資料 (歴史資料)	一括	資料は大きく分けて 草加せんべい、 豪農の家訓、 明治 10 年～20 年代の「草加人の憲法学習」、日記に見る大正期の青少年の青春像の 4 編からなっており、その文献類はいずれも草加市の歴史を知る上で貴重な資料群である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 58 年 2 月 22 日
市	草加神社本殿 (建造物)	1 棟	間口 2.27m、奥行 1.91m、向拝(こうはい)の出 1.73m の一間社流造で、天保年間の造営。豊富な彫刻も立川流の絵様を採用している建物である。	氷川町 2118-4 草加神社	昭和 58 年 2 月 22 日
市	日枝神社本殿 (建造物)	1 棟	間口 1.51m、奥行 1.34m、向拝の出 1.15m からなる一間社流造で、彫刻充填式の建物である。	吉町 3-9-24 日枝神社	昭和 58 年 2 月 22 日

指定	名 称	員数	概 要	所 在 地	指定年月日
市	手代町面芝居資料 シャグマ 8 点、面 14 点、衣装 22 点 (有形民俗文化財)	-	神楽舞だけでなく、面芝居(めんしばい)を演ずるのがこの地方の神楽の特色であったが、面芝居が上演されなくなって久しい。完全な形で保存されており、民俗芸能を知る上で貴重な資料である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 59 年 3 月 14 日
市	弘安六年弥陀一尊板碑 (歴史資料)	1 基	弘安 6 年(1283)は市域で最も古い板碑であり、中世の地域社会を理解する上で、かけがえのない資料である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 59 年 3 月 14 日
市	享禄五年弥陀一尊図 像庚申待板碑 (歴史資料)	1 基	庚申待板碑(こうしんまちいたび)は市域でこの 1 点が確認されただけであり、造立も享禄 5 年(1532)と古く、中世の地域社会を理解する上で、貴重な資料である。	柿木町地内	昭和 60 年 3 月 28 日
市	文明十七年弥陀一尊 図像月待板碑 (歴史資料)	1 基	月待板碑(つきまちいたび)は、一般に例が少なく、市内においては現在この 1 点が発見されただけで、造立年代も文明 17 年(1485)11 月 23 日と、市内の月待関係石刻資料としては最も古く、中世の地域社会を理解する上で、貴重な資料である。	遊馬町地内	昭和 61 年 2 月 20 日
県	甚左衛門堰 (建造物)	1 基	明治 27 年(1894)から昭和 58 年(1983)までの約 90 年間使用された、二連ア - チ型の煉瓦造水門。煉瓦は古いタイプの横黒煉瓦(鼻黒・両面焼煉瓦ともいう。)を使用しており、建設年代から見てもこの種の煉瓦を使った最後期を代表する遺構である。また、煉瓦でできた美しい水門は、周囲の景観にとけ込み、デザインの的にも優れたものであり、建設当初の姿を保ち、保存状態が極めて良く、農業土木技術史・窯業技術史上でも貴重な建造物である。	神明 2-145-1 ほか 札幌河岸公園	市指定 平成 10 年 10 月 28 日 県指定 平成 11 年 3 月 19 日
市	正保二年草賀町銘板 碑型線刻虚空蔵菩薩 立像供養塔 (歴史資料)	1 基	この供養石塔は「草賀町」の文字がある石物資料としては、現在知られている中で最も古いものとして注目される。また、草加市域では数少ない「虚空蔵菩薩立像」の線刻尊像である。	草加 2-13 北草加観音堂	平成 17 年 9 月 29 日
市	綾瀬川(旧新田村) 出土丸木舟 (歴史資料)	1 基	昭和 4 年(1929)、綾瀬川のしゅんせつ工事中に見えられた。約 5300 年前・縄文時代前期のものと推定される。帯状の削り残しによる横梁を有し、今後、丸木舟の構造を解明する上で重要な資料である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	平成 18 年 7 月 26 日
国	草加市立歴史民俗資料館 (国登録有形文化財 <建造物>)	1 棟	大正 15 年(1926)に建設された、埼玉県では初の鉄筋コンクリート(RC)造校舎である。昭和 54 年度(1979)まで草加小学校の校舎として利用され、その後昭和 58 年(1983)に歴史民俗資料館として開館した。造形の模範になっている建造物であることなどが評価され、平成 20 年(2008)10 月 23 日付けで、市では初、県では 123 件目の「登録有形文化財」となった。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	国登録 平成 20 年 10 月 23 日
市	明治天皇草加行在所 記念碑 (歴史資料)	1 基	「中大川」と呼ばれた大川弥惣右衛門家は、明治 9 年(1876)の奥羽巡幸及び明治 14 年(1881)の東北・北海道巡幸の際に明治天皇の行在所として指定された。昭和 8 年(1933)には史蹟名勝天然紀念物保存法に基づく史蹟に指定され、翌 9 年(1934)、これを記念し草加町が明治天皇草加行在所記念碑を建立した。行在所は平成 4 年(1992)に解体され、現在では記念碑が行在所の所在地及び中大川家の由緒を伝える貴重な資料となっている。	住吉 2 丁目地内	平成 23 年 12 月 26 日

国	藤城家住宅店舗・内蔵・外蔵 (国登録有形文化財 <建造物>)	3棟	藤城家住宅は、日光街道の宿場・旧草加宿のほぼ中央に位置する。街道に面して建つ「店舗」は高さがあり、屋根の軒先は出桁造、開口部は立格子で装飾された風格ある趣の昭和初期の商家である。 「店舗」の後方には、母屋に組み込まれた重厚な土蔵造りの「内蔵」と、明治初期の建造と伝える「外蔵」が建ち、奥行きが深い、草加宿の典型的な町屋景観を残している。 国土の歴史的景観に寄与していることが評価され、平成25年(2013)6月21日付けで、「登録有形文化財」となった。	高砂 2-19-3	国登録 平成25年6月21日
市	瀬崎の富士行及び富士塚 (民俗文化財)	—	富士山信仰を基盤とするもので、一般的には「富士講」と呼ばれているが、19世紀中頃からの伝承を伝える瀬崎では「富士に行く行為」が最重要要素であるとの認識のもと、あえて「富士行」と表記することになったものと伝えられている。 また、富士山信仰において、誰でも富士参拝ができるよう築かれた人工の山や塚を富士塚と呼ぶ。瀬崎の富士塚は大正5年(1916)8月に築造されており、現在も信仰の対象となっている。	草加瀬崎 3-3-24	平成26年1月24日
国	おくのほそ道の風景地 草加松原 (名勝)	—	草加松原は、綾瀬川沿いにある約1.5kmの松並木であり、旧草加宿の北側に位置する。江戸時代から日光街道の名所として知られてきた。 寛永7年(1630)の草加宿開宿時、もしくは天和3年(1683)の綾瀬川改修時に松が植えられたとの伝承が残されている。 松尾芭蕉の『おくのほそ道』に関連する名勝地が、後世の人々の風致景観に影響を与え、今なお往時の雰囲気伝える一連の風致景観として評価され、一群として名勝に指定されたものである。	栄町 1丁目ほか	国指定 平成26年3月18日

教育委員会関係附属機関委員

(平成27年7月1日現在 順不同、敬称略)

草加市奨学資金貸付審査会委員(4人)

中村 常雄 川原田 一郎 若林 秀次 厩溪 文有

草加市立小中学校通学区域審議会委員(14人)

福田 誠一 田畑 圭介 高波 さおり 吉岡 浩之 冨所 和宏
市川 雅保 浅井 壽雄 小山 泰男 峰崎 隆司 並木 正成
藤山 英樹 磯谷 正雄 生明 茂 伊東 信次郎

草加市障害児就学支援委員会委員(15人)

竹内 康二 浜田 正子 堀 喜代司 鎌田 久枝 石川 智子
内山 千鶴子 長谷川 毅 壽福 亜耶 益岡 和正 中村 常雄
加藤 吉宏 柴崎 ひとみ 東 あやの 柳田 優子 三宅 英俊

草加市社会教育委員(15人)

谷脇 純子 中村 俊臣 木田 一彦 鈴木 芳和 高橋 靖子
木村 孝三郎 本多 恵子 豊田 竹二 山川 寿美恵 福田 求
青山 鉄平 上羅 廣 長谷部 健一 細川 美佐子 嶋根 繁

草加市公民館運営審議会委員(13人)

百瀬 皓 山本 多美子 豊田 美子 山口 堯二 福田 常一
塩脇 洋 金井 日出雄 平林 國男 森口 和總 木村 功
小櫃 真人 若林 由美子 後藤 一彦

草加市立図書館協議会委員(11人)

青柳 晃一 入内島 均 中島 清治 勝間 翼 松岡 尊子
犬塚 寿子 鉢山 京子 高野 日出代 三澤 江津子 橋本 奈津子
羽田 洋一

草加市文化財保護審議会(6人)

石岡 憲雄 堀内 仁之 高橋 操 岡本 一雄 譲原 純子
高梨 真行

学校教育関係等一覧

○ 小学校

No	学 校 名	所 在 地	電話番号	校 長 名	教 頭 名
1	草加小学校	住吉一丁目 1 1 番 6 4 号	927-3568・3569	上 野 和 敏	和 田 卓
2	高砂小学校	中央一丁目 2 番 5 号	924-3425・3426	後 藤 裕 史	長 江 清 和
3	新田小学校	旭町六丁目 1 2 番 1 1 号	941-3087・3172	森 田 恵 子	平 野 晴 彦
4	谷塚小学校	谷塚仲町 4 4 0 番地	925-2422・7105	小 櫃 真 人	鈴 木 輝 子
5	栄小学校	松原一丁目 3 番 2 号	941-2164・2124	峰 崎 隆 司	長 野 典 子
6	川柳小学校	青柳七丁目 2 7 番 1 0 号	931-5025・5024	浅 賀 利 一	奥 村 勇
7	瀬崎小学校	瀬崎二丁目 3 2 番 1 号	924-9656・9657	益 岡 和 正	林 奈 緒 美
8	西町小学校	西町 2 7 0 番地	924-7245・7246	森 田 郷 子	早 津 次 仁
9	新里小学校	新里町 7 5 9 番地	924-7248・7249	河 野 健	山 村 一 晃
10	花栗南小学校	花栗四丁目 3 番 1 号	941-2854・2835	佐々木 毅	飯 田 和 行
11	八幡小学校	八幡町 6 5 番地	936-6293・6294	輿 水 功	宮 崎 知 彦
12	新栄小学校	新栄四丁目 9 5 9 番地	941-2189・2188	青 柳 晃 一	岡 田 安 弘
13	清門小学校	清門三丁目 3 7 番地 1	941-6755・6756	石 崎 明 子	土 屋 貴 一 大 澤 英 雄
14	稻荷小学校	稻荷五丁目 1 1 番 1 号	936-5855・5856	柳 武 尚 広	渡 部 涼 子
15	氷川小学校	氷川町 4 4 8 番地	928-6771・6772	小 松 薫 樹	皆 川 賢 司
16	八幡北小学校	八幡町 1 1 4 8 番地	936-0773・0774	清 水 孝 二	菊 地 直 樹
17	長栄小学校	長栄一丁目 7 6 2 番地	942-9874・9875	岩 田 直 代	村 田 隆 一
18	青柳小学校	青柳三丁目 1 7 番 1 号	931-0899・0894	鈴 木 有 津 子	田 代 義 明
19	小山小学校	小山二丁目 8 番 1 号	941-1701・1702	鈴 木 雅 彦	村 山 岳 視
20	両新田小学校	両新田西町 5 5 番地	927-8411・8412	中 村 俊 臣	松 原 恵 子
21	松原小学校	松原四丁目 2 番 1 号	941-3214・3996	中 河 正 明	小 林 和 美

○ 中学校

No	学 校 名	所 在 地	電話番号	校 長 名	教 頭 名
1	草加中学校	氷川町 2 1 7 9 番地 4	925-5201・5202	並 木 正 成	野 村 真 一
2	栄中学校	松原三丁目 3 番 1 号	941-2587・2589	入 内 島 均	及 川 祐 一
3	谷塚中学校	谷塚上町 6 2 番地	925-2421・3456	野 口 繁	中 谷 浩 一
4	川柳中学校	青柳七丁目 3 5 番 1 号	931-5827・5828	本 間 錦 一	小 林 一 男
5	新栄中学校	新栄一丁目 3 3 番地	941-5034・5035	川原田 一郎	河 本 静 夫
6	瀬崎中学校	瀬崎五丁目 3 番 1 号	927-6297・6298	関 根 秀 一	高 安 健 次
7	花栗中学校	花栗四丁目 1 5 番 1 2 号	941-5833・5835	中 村 常 雄	阪 田 晴 紀
8	両新田中学校	両新田西町 3 6 8 番地 1	924-5051・5052	水 澤 郁 夫	高 橋 整
9	新田中学校	長栄一丁目 7 6 7 番地	942-9872・9873	笠 井 誠 司	鈴 木 恒 次
10	青柳中学校	青柳八丁目 5 8 番 1 0 号	936-4001・4002	藤 谷 和 史	佐久間 郁男
11	松江中学校	松江三丁目 1 4 番 3 3 号	936-9903・9904	森 真 一	井 上 聡

○ 高等学校・大学等

No	学 校 名	所 在 地	電 話 番 号	校 長 ・ 学 長
1	埼玉県立草加高校	青柳五丁目3番1号	935-4521	木 田 一 彦
2	埼玉県立草加南高校	柳島町6番地	927-7671	松 村 和 則
3	埼玉県立草加東高校	柿木町1110番地1号	936-3570	齋 藤 和
4	埼玉県立草加西高校	原町二丁目7番1号	942-6141	石 塚 忍
5	埼玉県立草加かがやき特別支援学校	松原四丁目6番1号	946-2131	小 池 真 也
6	獨協大学	学園町1番1号	946-1641	犬 井 正

○ 私立幼稚園・認定こども園

No	幼 稚 園 名	所 在 地	電 話 番 号	園 長
1	谷塚幼稚園	瀬崎二丁目37番3号	928-0410	小 倉 惠 照
2	ルミ幼稚園	住吉一丁目6番22号	928-0016	小 野 真 理
3	認定こども園 あずま幼稚園	遊馬町430番地	925-1741	丹 羽 義 昭
4	いなり幼稚園	稲荷四丁目14番20号	931-4949	鈴 木 禮 子
5	かおり幼稚園	氷川町1080番地1	928-4489	厩 溪 文 有
6	草加みどり幼稚園	栄町三丁目3番12号	936-0815	吉 田 栄 子
7	青徳幼稚園	青柳七丁目19番26号	936-5560	圀 田 やよい
8	ひかり幼稚園	松原二丁目1番1号	942-1015	谷 脇 純 子
9	草加ひまわり幼稚園	松原三丁目1番1号	941-2215	中 本 順 子
10	草加藤幼稚園	松原四丁目4番2号	942-1626	山 本 恭 子
11	新田幼稚園	金明町650番地	942-5516	柴 多美世
12	谷塚おざわ幼稚園	谷塚町1328番地1	927-2828	小 澤 尚 久
13	草加氷川幼稚園	氷川町675番地	925-3006	平 野 徳 枝
14	みのべ幼稚園	北谷二丁目31番1号	941-8252	美濃部 やよい
15	草加ひので幼稚園	中根二丁目12番35号	931-1880	堀 江 鈍 也
16	清門幼稚園	清門三丁目12番1号	942-5880	高 橋 富士江
17	フラワー幼稚園	西町1005番地1	925-4121	大 野 良 行

児 童 ・ 生 徒 数 等 の 推 移

(各年度5月1日現在 単位:人・校)

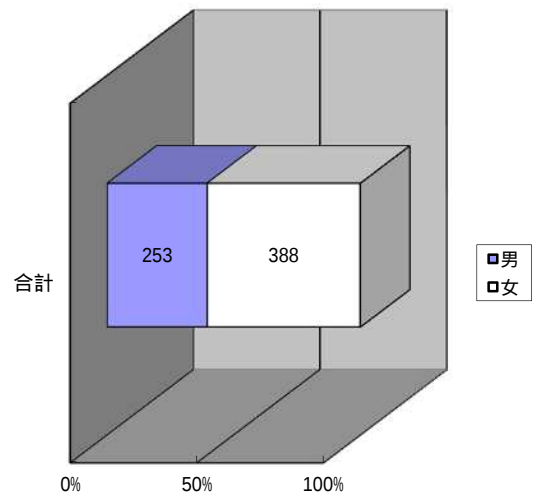
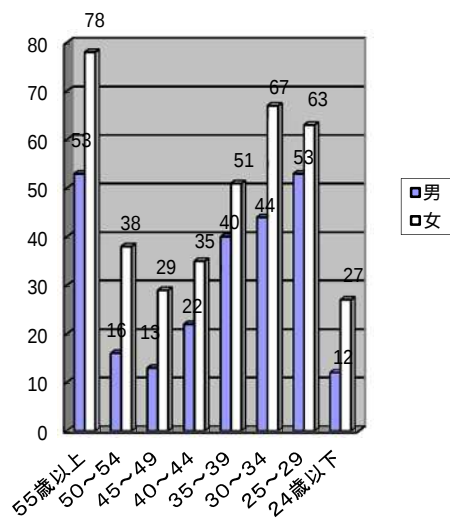
年度		8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
児童・生徒数	小学校	12,161	12,115	12,030	12,128	12,279	12,509	12,767	13,099	13,412	13,677
	中学校	6,261	6,003	5,884	5,753	5,633	5,523	5,367	5,360	5,338	5,567
学校数	小学校	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
	中学校	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
年度		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
児童・生徒数	小学校	13,936	13,925	14,118	14,148	14,137	13,940	13,617	13,410	13,160	13,015
	中学校	5,651	5,894	5,881	6,081	6,140	6,410	6,549	6,555	6,547	6,425
学校数	小学校	22	22	22	22	21	21	21	21	21	21
	中学校	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11

教職員の年齢構成・男女比

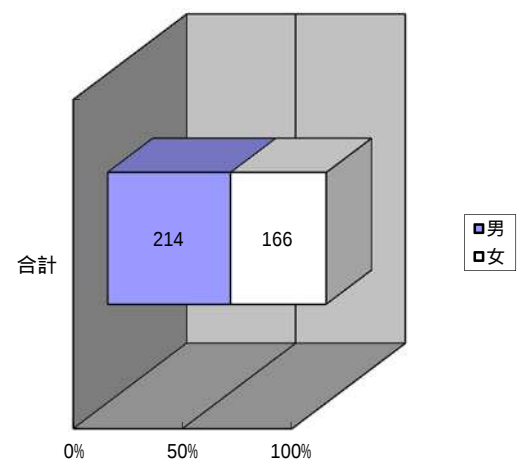
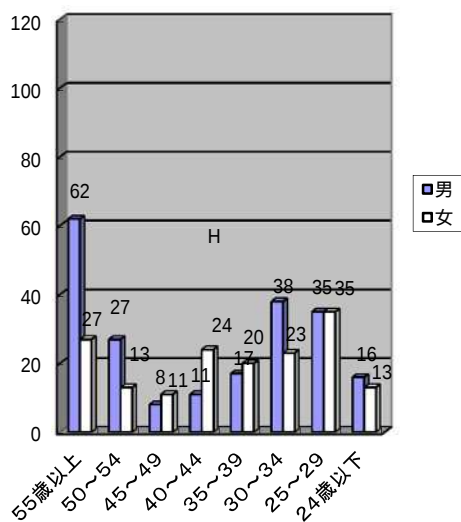
(平成27年5月1日現在、県費負担教職員)

(年齢は平成28年3月31日現在)

小学校(641人)



中学校(380人)



学 校 概 要

平成27年度草加市小中学校学年別児童・生徒数・学級数等一覧表

(平成27年5月1日現在)

	学校数	児童・生徒数	学 級 数			県費教職員数		
			通常学級	特別支援学級	計	男	女	計
小 学 校	21	13,015	396	36	432	253	388	641
中 学 校	11	6,425	178	21	199	214	166	380
計	32	19,440	574	57	631	467	554	1,021

(小学校)

No.	学校名	創立記念日	開校記念日	1年		2年		3年		4年		5年		6年		特別支援学級		計		県 費 教 職 員 数								
				児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	児 童 生徒数	学級数	校長	教頭	主幹 教諭	教諭	養護 教諭	栄養 教諭	事務 職員
1	草 加	明5.5.15	5月15日	109	4	125	4	108	3	123	4	134	4	121	4	10	2	730	25	1	1		31	1		1	1	36
2	高 砂	昭29.4.1	9月18日	162	5	135	4	183	5	153	4	155	4	152	4	12	2	952	28	1	1	1	33	2	1	2	41	
3	新 田	明6.4.26	4月26日	60	2	76	3	83	3	85	3	87	3	97	3	14	2	502	19	1	1	1	21	1		1	26	
4	谷 塚	明6.1.25	1月25日	130	4	125	4	148	4	165	5	128	4	158	4	6	2	860	27	1	1	1	31	2	1	2	39	
5	栄	昭38.4.1	5月2日	108	4	115	4	110	3	98	3	100	3	112	3	7	2	650	22	1	1	1	27	1		1	33	
6	川 柳	明6.1.15	4月12日	102	3	135	4	110	3	113	3	132	4	91	3	7	2	690	22	1	1		26	1	1	1	31	
7	瀬 崎	昭42.4.1	5月4日	116	4	122	4	103	3	100	3	119	3	124	4	5	2	689	23	1	1		27	1		1	31	
8	西 町	昭42.4.1	1月23日	107	4	126	4	113	3	120	3	141	4	131	4	9	2	747	24	1	1	1	29	1	1	1	35	
9	新 里	昭45.4.1	2月10日	111	4	126	4	113	3	112	3	110	3	130	4	12	2	714	23	1	1	1	26	1		1	32	
10	花 栗	南昭47.4.1	5月10日	82	3	67	2	60	2	72	2	59	2	72	2	5	2	417	15	1	1		19	1		1	23	
11	八 幡	昭48.4.1	9月29日	151	5	143	5	123	4	129	4	124	4	149	4	15	2	834	28	1	1	1	36	1		2	43	
12	新 栄	昭49.4.1	11月22日	64	2	80	3	94	3	67	2	82	3	78	2	3	1	468	16	1	1		20	1		1	25	
13	清 門	昭51.4.1	9月14日	170	5	162	5	183	5	178	5	161	5	186	5	3	2	1,043	32	1	2		39	2		2	47	
14	稲 荷	昭52.4.1	5月4日	78	3	86	3	97	3	80	2	103	3	96	3	3	1	543	18	1	1	1	23	1		1	29	
15	氷 川	昭52.4.1	9月16日	108	4	81	3	89	3	86	3	89	3	97	3	2	1	552	20	1	1		27	1		1	31	
16	八 幡	北昭54.4.1	5月4日	78	3	78	3	73	2	70	2	92	3	53	2	4	1	448	16	1	1	1	19	1		1	24	
17	長 栄	昭55.4.1	7月1日	87	3	79	3	73	2	73	2	72	2	70	2	1	1	455	15	1	1	1	17	1	1	1	23	
18	青 柳	昭57.4.1	5月4日	61	2	60	2	61	2	74	2	65	2	72	2	11	2	404	14	1	1		18	1		1	22	
19	小 山	昭57.4.1	10月14日	73	3	67	2	78	2	72	2	81	3	109	3	2	1	482	16	1	1		20	1		1	24	
20	両 新 田	昭57.4.1	5月4日	69	2	66	2	56	2	97	3	71	2	69	2	14	2	442	15	1	1		19	1		1	23	
21	松 原	平21.4.1	5月23日	61	2	66	2	62	2	69	2	67	2	60	2	8	2	393	14	1	1		19	1		1	23	
計				2,087	71	2,120	70	2,120	62	2,136	62	2,172	66	2,227	65	153	36	13,015	432	21	22	10	527	24	5	25	7	641

(中学校)

1	草 加	昭22.4.1	4月23日	262	7	259	7	237	6							19	4	777	24	1	1		42	1		2	1	48
2	栄	昭22.4.1	11月2日	178	5	189	5	169	5							8	2	544	17	1	1	1	26	1		1	1	32
3	谷 塚	昭22.4.1	5月3日	217	6	253	7	222	6							15	3	707	22	1	1		36	1		2	1	42
4	川 柳	昭22.4.1	5月1日	173	5	141	4	152	4							4	2	470	15	1	1	1	27	1	1	1		33
5	新 栄	昭49.4.1	5月4日	187	5	197	5	193	5							5	2	582	17	1	1		28	1	1	1		33
6	瀬 崎	昭51.4.1	5月4日	239	7	251	7	270	7							10	2	770	23	1	1		37	1		2	1	43
7	花 栗	昭52.4.1	5月24日	157	5	171	5	184	5							4	1	516	16	1	1		24	1		1		28
8	両 新 田	昭54.4.1	5月4日	166	5	176	5	199	5							3	1	544	16	1	1		26	1		1		30
9	新 田	昭55.4.1	7月1日	198	6	183	5	161	5							3	1	545	17	1	1		25	1		1		29
10	青 柳	昭56.4.1	7月7日	156	5	162	5	161	5							4	1	483	16	1	1		26	1		1		30
11	松 江	昭60.4.1	6月27日	133	4	181	5	166	5							7	2	487	16	1	1		27	1	1	1		32
計				2,066	60	2,163	60	2,114	58							82	21	6,425	199	11	11	2	324	11	3	14	4	380

小・中学校施設状況

（平成27年4月1日現在）

No	学 校 名	校地面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)	全教室数 (保有教室数)	屋内運動場 (㎡)	プール面積 (水面積) (㎡)	グラウンド 面積(㎡)
1	草加小学校	14,200	5,393	33	890	375	7,620
2	高砂小学校	25,357	11,697	43	1,475	385	8,088
3	新田小学校	15,032	6,017	35	901	385	7,058
4	谷塚小学校	17,311	8,603	40	985	390	6,260
5	栄小学校	19,081	8,600	38	938	385	9,304
6	川柳小学校	22,971	5,761	30	899	385	10,415
7	瀬崎小学校	16,602	5,211	32	916	375	6,788
8	西町小学校	18,909	6,703	33	922	375	7,136
9	新里小学校	15,189	6,432	36	897	375	5,756
10	花栗南小学校	15,666	5,800	29	883	375	6,969
11	八幡小学校	22,735	8,059	43	908	375	9,626
12	新栄小学校	16,500	5,989	29	888	375	7,628
13	清門小学校	14,837	7,121	45	902	375	7,473
14	稻荷小学校	16,324	4,858	26	902	375	8,647
15	氷川小学校	16,430	6,780	34	949	375	7,746
16	八幡北小学校	15,441	6,055	30	934	350	8,746
17	長栄小学校	16,029	5,429	26	860	350	7,496
18	青柳小学校	12,888	4,708	27	1,121	350	6,039
19	小山小学校	14,123	4,991	27	936	350	8,656
20	両新田小学校	14,568	4,996	27	936	350	8,095
21	松原小学校	18,338	8,009	29	851	345	7,635
計		358,531	137,212	692	19,893	7,775	158,576
1	草加中学校	21,506	5,755	36	2,095	425	7,448
2	栄中学校	26,479	5,803	30	899	325	15,153
3	谷塚中学校	22,591	7,505	37	897	375	9,471
4	川柳中学校	20,180	5,156	30	852	325	7,364
5	新栄中学校	15,819	6,005	34	919	375	6,291
6	瀬崎中学校	17,702	6,055	34	945	325	9,943
7	花栗中学校	17,078	6,674	32	891	325	8,599
8	両新田中学校	17,564	5,740	28	936	325	12,067
9	新田中学校	17,581	6,664	28	939	325	9,647
10	青柳中学校	17,063	6,651	31	930	325	8,598
11	松江中学校	17,302	6,992	29	800	325	9,383
計		210,865	69,000	349	11,103	3,775	103,964

平成 2 7 年度 草加の教育

平成 2 7 年 8 月 発行

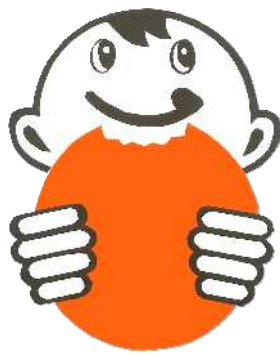
編 集 草加市教育委員会総務企画課

発 行 草加市教育委員会

草加市高砂一丁目 1 番 1 号

TEL 048-922-0151(代)

FAX 048-928-1178



草加せんべい パリポリくん